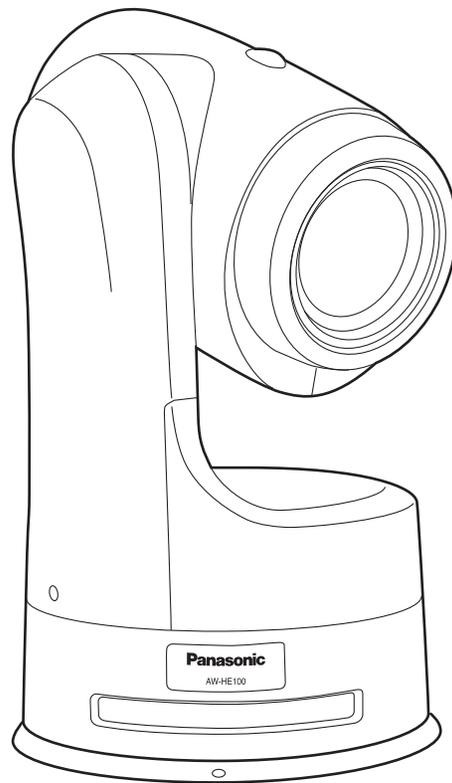


Panasonic[®]

取扱説明書

HDインテグレートドカメラ

品番 **AW-HE100N**



工事説明書別添付

保証書別添付

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全のご注意	3	プリセットメモリー	32
付属品	8	ホワイトバランス調整	34
概要	8	ブラックバランス調整	37
個人情報の保護について	8	黒レベル（トータルペDESTAL）調整	38
特長	9	ゲンロック調整	40
設置上のご注意	10	メニューの基本操作	43
使用上のお願い	11	メニュー項目	51
コントローラーについて	12	メニュー項目一覧	60
各部の名前とはたらき	13	リミッターについて	61
ワイヤレスリモコンについて	17	リミッターの設定と解除	62
ワイヤレスリモコンの準備	17	セーフモード	63
撮影の基本操作	18	故障と思ったら	64
電源の入れかたと切りかた	19	お手入れのしかた	66
本機を選択	21	消耗品の交換	66
撮影モード（シーンファイル）の選択	22	本機の取り外しかた	67
撮影する	25	外形寸法図	68
撮影の基本操作で困ったときは	26	定格	69
より高度な使いかた	27	保証とアフターサービス	71
マニュアル撮影	28		

ご注意

- 本機の説明書は、工事説明書と取扱説明書（本書）に分かれています。
本機を設置する前に、必ず工事説明書をお読みいただき、正しく設置してください。
- 本書では AW-HE100N を「AW-HE100」と記載しています。
同様に、AW-RP655N を「AW-RP655」、AW-RP555N を「AW-RP555」、AW-RP400N を「AW-RP400」、
AW-IF400N を「AW-IF400」、AW-CB400N を「AW-CB400」と記載しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●設置・使用方法について

 警告		
工事は販売店に依頼する  工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ●必ず販売店に依頼してください。	湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない  火災や感電の原因となります。 禁止	不安定な場所に設置しない  落下や転倒によるけがや事故の原因となります。 禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

●設置・使用方法について

警告

<p>付属品・オプションは指定の製品を使用する</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>指定以外の電源や電圧で使わない</p> <p> 指定以外の電源や電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p> <p> 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p> <p>●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
<p>分解しない、改造しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <p>●修理や点検は、販売店に連絡してください。</p>	<p>電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因となります。</p>	<p>ケーブルなどは引っ張らない</p> <p> 火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>ケーブルなどを傷つけない</p> <p> 重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>コンセントや配線機器の定格を超える使用や、交流 100V 以外での使用はしない</p> <p> たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>アースを確実に接続する</p> <p> 付属の電源コードはアース端子付き3芯プラグです。アースに接続された3極コンセントに接続してください。アースの接続がされていないと、故障や漏電による感電の原因となります。</p> <p>●販売店に相談してください。</p>	<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。</p>	<p>移動させる場合は外部の接続線を外す</p> <p> 電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。</p> <p>●移動させるときは、電源スイッチを切り、外部接続ケーブルを外したことを確認してください。</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

●設置・使用方法について

警告

<p>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない</p> <p> 水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。</p> <p>水ぬれ禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>	<p>水場で使用しない</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>異物を入れない</p> <p> 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
<p>本機の上に重いものを置かない</p> <p> バランスが崩れて倒れたり、落下したりするなど、けがの原因となります。また、火災、感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>落としたり、破損させたりしない</p> <p> 本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>	<p>振動や強い衝撃を与えない</p> <p> 火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>開口部（オプションスロット部など）に手を入れない</p> <p> けがや感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>燃えやすい物の近くに設置しない</p> <p> ハロゲンランプを設置する場合は、燃えやすい物の近くに設置すると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>可動部には近づかない</p> <p> 指や身体を絶対に近づけないようにしてください。けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>

注意

<p>ラック、本棚など密閉した中に入れない</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>		
---	--	--

安全上のご注意

必ずお守りください

●電池について



電池は誤った使い方をしない



禁止

- ⊕ と ⊖ は逆に入れない
- 乳幼児の手の届くところに置かない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- 著しく温度が高くなるところに電池や電池の入った機器を放置しない
(直射日光の当たるところ、ヒーターの近く、窓を閉めきった車や車のトランクの中など)
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない
- 乾電池は充電しない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 指定の電池以外は使わない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない

●取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災やけが、周辺汚損の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする



- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
- 電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す



そのまま機器の中に放置すると、液もれ・発熱・破裂の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

●異常時の処理について

警告

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因となります。

- 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

●お手入れについて

警告

お手入れのときは電源を切る



感電の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

付属品

付属品をご確認ください。

工事説明書	1	金具取付ねじ (平ワッシャー／スプリングワッシャー付き)	
取扱説明書 (CD-ROM)	1	M4 × 8 mm.....	4
ワイヤレスリモコン	1	ケーブルカバー用ねじ (皿ねじ)	
単 3 形乾電池 (別売) を 2 個使用します。		M3 × 6 mm.....	2
電源コード (2 m).....	1	ねじ隠しシート.....	2
設置面用金具 (床・天井側)	1	ゴム脚.....	4
ケーブルカバー.....	1	ゴム脚用ねじ (黒色)	
		M4 × 6 mm.....	4

概要

本機は、回転台とズームレンズを一体型にしたマルチフォーマットカメラです。
カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、従来よりも設置が簡単になりました。
付属品のワイヤレスリモコンから遠隔操作ができます。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

特長

マルチフォーマットに対応

- 1080i、720p、480iのフォーマットをメニューで切り替えが可能。
SDフォーマットのシステムからHDフォーマットのシステムへの移行も、スムーズに行えます。
- SDフォーマットでは、アスペクト比 16:9 または 4:3 の選択が可能。

1/3型3CCD・高性能13倍ズームレンズを採用

- 14ビットA/D (Analog to Digital) コンバーターと 19ビットプロセスのDSP (Digital Signal Processor) を搭載。
多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 新開発ワイドプログレッシブ CCD を搭載。受光面積の広い 1/3 型 CCD を採用しているため、さまざまな撮影条件下で、高画質な映像が得られます。
- HD 映像の撮影用に開発された大口径レンズは、ワイド端で 32.5 mm (35 mm 換算) の広角を実現。
幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

高性能回転台との一体型で快適操作

- 60°/s の高速動作。
- パン範囲：±175°以上、チルト範囲：-40°～+210°以上の広い旋回角度。
- 騒音レベル NC30 (30°/s 動作時)、NC35 (60°/s 動作時) の静かな動作。
- 最大 100 ポジションのプリセットメモリーが可能。
(使用するコントローラーによって、プリセットメモリー数は異なります。)

現行の当社製コントローラーとの高い親和性で、フレキシブルなシステム構築を実現

- 現行の当社製各種コントローラー (AW-RP655、AW-RP555、AW-RP400 + AW-IF400 + AW-CB400) から最大 5 台までの本機の操作が可能。(コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。
本機とコントローラー間の最大距離は 1000 m です。映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です。)
現行の当社製カメラや回転台システムとの併用も可能で、既存システムを活用した柔軟なシステム構築が行えます。

回転台・カメラ・レンズ一体型で、簡単設置

- カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、設置工程を大幅に短縮。

簡単操作なワイヤレスリモコンの標準付属

- 本機を最大 4 台まで操作できるワイヤレスリモコンを標準で付属。
各種機能の設定や切り替えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。

設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

設置場所について

お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な天井面などをよく選んで、設置してください。

- 強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に設置してください。
強度が不十分な天井に設置する場合は、十分な補強を施してください。

以下のような場所での設置および使用はしないでください。

- 壁面（横向きの設置）
- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- 厨房など蒸気や油が多い場所
- 屋外や +40℃以上の暑い場所
- 0℃以下の寒い場所
- 湿度が 85%以上の場所
- プールなど、薬剤を使用する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 放射線や X 線および強力な電波や磁気が発生する場所
- 車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません。）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
- 設置場所への放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

本機の設置には、必ず付属品を使用してください

- 本機の設置には、必ず付属の取付金具、取付ねじを使用してください。
- 指定方法以外の取り付けは行わないでください。
- 本機に付属の取付金具や取付ねじは、改造しないでください。

設置面用金具の取付ねじは、別途ご用意ください

設置面用金具の取付ねじは、付属されておられません。六角ボルト（M6）およびスプリングワッシャー、平ワッシャー、また必要に応じてナットをご用意ください。

設置用ねじの締めつけについて

- ねじやボルトは、設置場所の材質や構造物に合わせて締めつけてください。
- ねじやボルトを締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、締められていることを確認してください。
- 所定の工具にて確実に締めつけてください。

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

- 本機の取り外しかたについては、「本機の取り外しかた」（67 ページ）を参照してください。

設置または撤去を行うときは、必ず台座部分を持って行ってください

- 回転部分を持つたり、回転部分を手で回すと、故障の原因になります。

本機にフィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けないでください

この機器は、主電源コンセントの近くに設置し、簡単に電源プラグの抜き差しができる状態にしてください

電源プラグを 2 ピンに変換して使用される場合は、販売店にご相談のうえ、アース線付きのプラグアダプターを使用し、必ず接地接続を行ってください。

付属の電源コードは、定格が AC 125 V 以下になりますので、AC 120 V 以上 AC 240 V 以下でご使用になる場合は、販売店にご相談のうえ、電源コードを別途ご用意ください。

本機の CONTROLLER 端子と、一般の LAN 回線または電話回線を接続しないでください

- 故障の原因になります。

使用上のお願い

撮影は適正な照明で

- 美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。
- 蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

高輝度の被写体では

- 光った被写体などを撮影すると CCD カメラ特有のスミア現象が発生します。
スミア：電球など光った高輝度の被写体の上下（縦方向）に光の筋が発生する現象

オート機能使用のときは

- 蛍光灯下の ATW（自動追尾式ホワイト調整）機能の使用は、ホワイトバランスが変動する場合があります。
- 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手でフォーカスを合わせてください。
- ゲインやアイリスがオート設定のとき、明るい被写体を撮影すると適正な明るさにならない場合があります。その場合は、シャッタースピードをマニュアル設定にして調整してください。

ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。本機はその補正機能を持ちます。（ズーム操作中のフォーカス補正機能）
この機能は出荷状態では ON になっています。
この機能を OFF にした場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

コンポジット映像信号のアスペクト比について

- 映像フォーマットが 1080i または 720p のとき、コンポジット映像信号のアスペクト比は 16:9（スクイーズ）に固定されます。

電源を入れたときのズームについて

本機の電源を入れたとき、ズーム、フォーカス、アイリスは電源を切る直前の位置に戻ります。（フォーカスとアイリスは、マニュアル設定の場合）
しかし動作中に電源コードを抜かれた場合などは、戻らないことがあります。

本機にはセーフモード機能があります

- セーフモードは、人や物への危害、回転台の損傷を防止するための機能です。
詳細については、「セーフモードについて」（63 ページ）を参照してください。

ケーブルの抜き差しは電源を切って

- ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

取り扱いはていねいに

- 落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

使用しない場合は

- 使用しないときは電源を切ってください。
使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

光学系部には触れないで

- 光学系部はカメラの“命”。
光学系には絶対に触れないでください。
万一、ホコリがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

フィルター、フードなどを取り付けないで

- フィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けないでください。

持ち運ぶときは台座を持って

- カメラ部や回転ヘッドを持たないでください。故障の原因になります。

回転部分を手で回さないで

- 回転部分を手で回すと、故障の原因になります。

湿気、ホコリの少ない所で

- 湿気、ホコリの多い所は、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

使用温度範囲は

- 0℃以下の寒い所や +40℃以上の暑い所では画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。

廃棄のときは

- 本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

コントローラーについて

対応コントローラー

- AW-RP655 ● AW-RP555
- AW-RP400 + AW-IF400 + AW-CB400
(AW-RP400、AW-IF400、AW-CB400 を組み合わせたシステム)

※コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。
販売店にご相談ください。

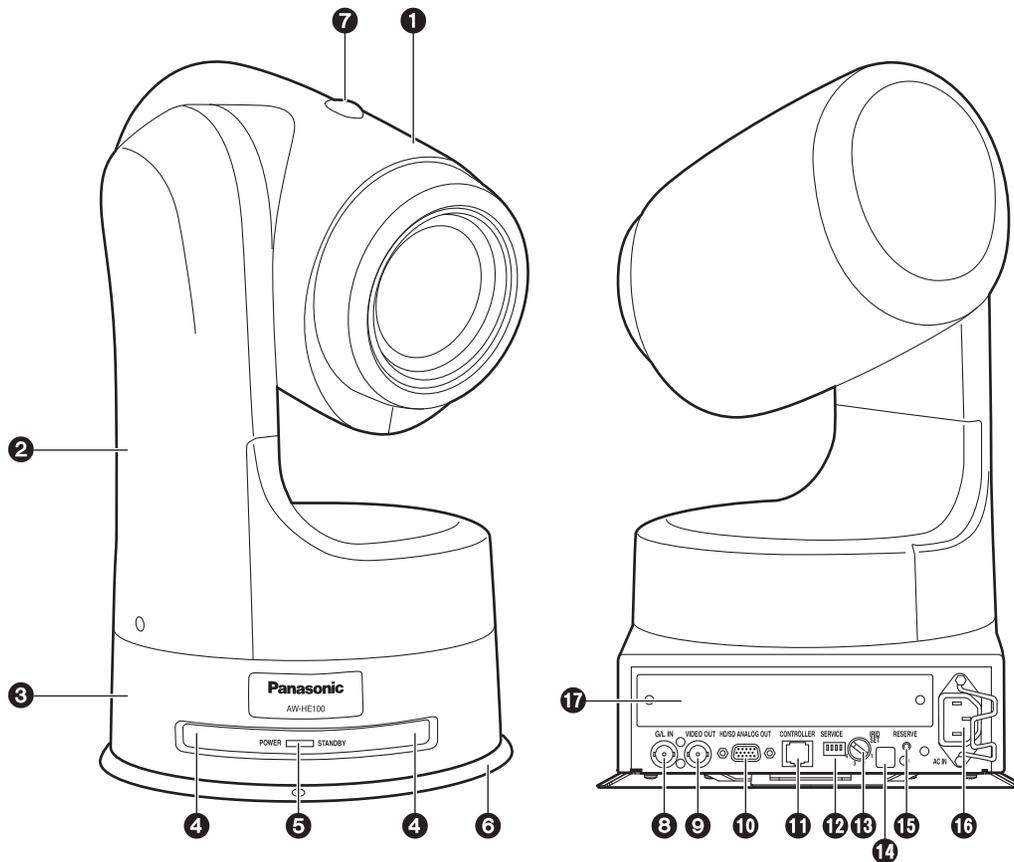
■ AW-RP655 を接続する場合

- AW-RP655 のカメラ設定メニューは使用できません。
→ 本機のカメラ設定メニューを使用してください。

■ AW-RP400 + AW-IF400 + AW-CB400 を接続する場合

- AW-RP400 から本機のフォーカス进行操作する場合には、当社の他のカメラ・回転台システムを使用した場合と比較すると、操作に対する反応が遅いことがあります。
- AW-CB400 と本機は直接接続できません。
→ 必ず AW-RP400、AW-IF400、AW-CB400 の組み合わせで接続してください。
- AW-CB400 のカメラ設定メニューは使用できません。
→ 本機のカメラ設定メニューを使用してください。
- R/B PED ダイヤルは使用できません。
- トレーシングメモリー機能は使用できません。
- TILT RANGE は切り替えできません。
- MEMORY LENGTH は設定できません。
- DIAGONAL MOTION（対角線動作）は切り替えできません。
- バックラッシュは補正できません。
- オートフォーカスの ON/OFF を AW-RP400 から切り替える場合は、OPTION SW に「EXT」機能を割り当ててご使用ください。

各部の名前とはたらき



① カメラ部

上下方向に回転します。

② 回転ヘッド

水平方向に回転します。

③ 台座

④ ワイヤレスリモコン信号受光部（前面）

⑤ 状態表示ランプ

本機の状態によって、次のように点灯します。

橙色：待機（STANDBY）状態

緑色：電源 ON 時

赤色：機器異常

緑色で 2 回点滅：

電源 ON 時に、付属のワイヤレスリモコンからリモコン ID が一致する信号を受信しているとき

橙色で 2 回点滅：

電源 ON 時に、付属のワイヤレスリモコンからリモコン ID が異なる信号を受信しているとき

各部の名前とはたらき

⑥ 取付金具（装着済み）

⑦ タリーランプ

タリーランプ使用設定が「On」に設定されている場合のみ、コントローラーの制御で点灯・消灯します。

⑧ G/L IN 端子

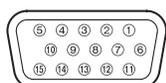
ゲンロック信号の入力端子です。
本機は BBS または VBS に対応します。
ケーブル補償器（AW-RC400）などの G/L OUT 端子に接続します。

⑨ VIDEO OUT 端子

カメラのコンポジット映像信号の出力端子です。
モニターなどに接続します。
接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

⑩ HD/SD ANALOG OUT 端子

カメラの HD/SD コンポーネント映像信号の出力端子です。
接続ケーブルは、D-SUB 15 ピン接続ケーブル（VGA ケーブル）または、D-SUB 15 ピンと BNC 同軸コネクタの変換ケーブルをご用意ください。
高品位なケーブルをご使用ください。



ピン番号	信号名
1	Pr (Y/C モード時 C)
2	Y (Y/C モード時 VBS)
3	Pb (Y/C モード時 Y)
4 ~ 15	GND

⑪ CONTROLLER 端子

カメラ / 回転台の制御信号の入力端子です。
コントローラーの [TO PAN/TILT HEAD] 端子に接続します。

⑫ SERVICE スイッチ

メンテナンス用のスイッチです。
通常はすべて「OFF」の位置にしておきます。

SERVICE



⑬ IR ID SET スイッチ

付属のワイヤレスリモコンのリモコン ID を選択します。
このスイッチの [1] ~ [4] は、ワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンに対応しています。

⑭ ワイヤレスリモコン信号受光部（背面）

⑮ RESERVE ボタン

メンテナンス用の予約ボタンです。
通常は使用しません。

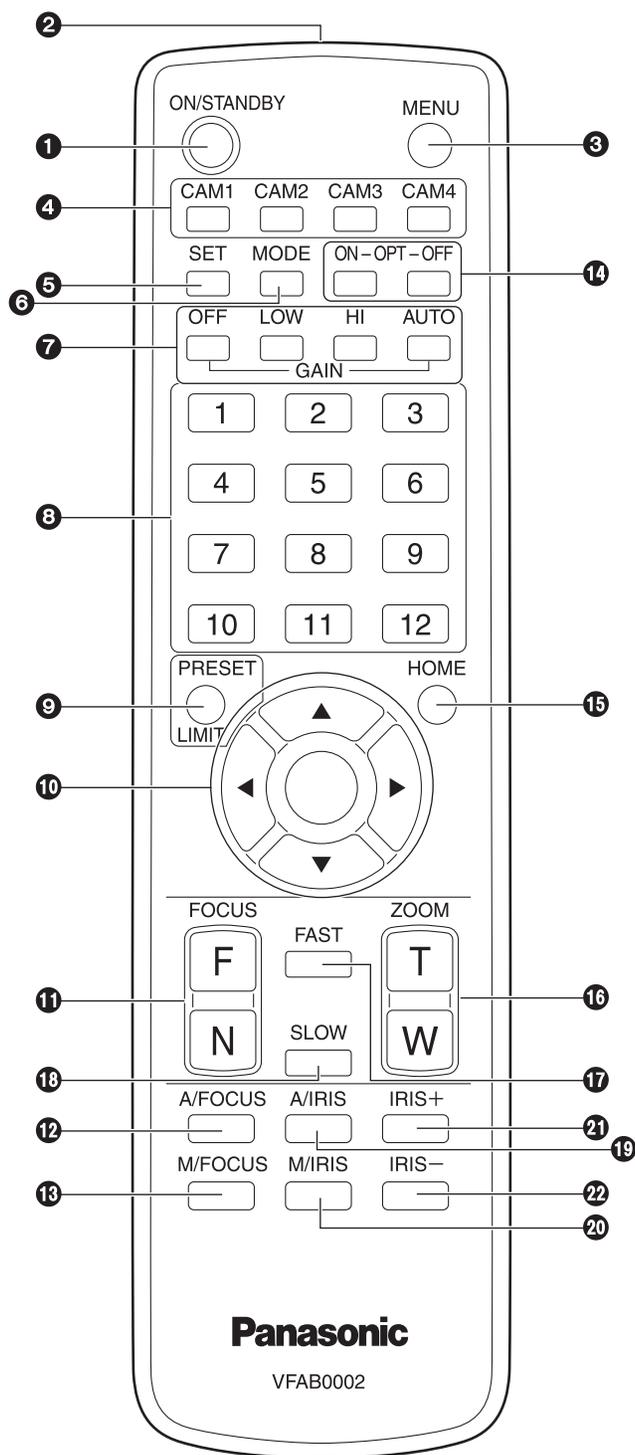
⑯ AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

⑰ オプションスロット

各部の名前とはたらき

ワイヤレスリモコン



① ON/STANDBY ボタン

2 秒間押すごとに、本機の電源 ON と待機状態 (STANDBY) を切り替えます。

② 信号発光部

③ MENU ボタン

2 秒間押すごとに、本機のメニュー表示とメニュー終了を切り替えます。

また、このボタンと PRESET、LIMIT ボタン、パン・チルトボタン ([▲] [▼] [◀] [▶]) の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限 (リミッター) の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(62 ページ) を参照してください。

④ CAM1 ~ CAM4 ボタン

操作する本機を選択します。

一度選択すると、以後は選択した本機に対して操作が可能になります。

⑤ SET ボタン

ホワイトバランス調整で AWC A メモリーまたは AWC B メモリーを選択しているとき、このボタンを 2 秒間押すと、ブラックバランスとホワイトバランスを自動調整して、選択中のメモリーに登録します。

また、このボタンを短く (2 秒未満) 押すと、ホワイトバランスのみを自動調整して、選択中のメモリーに登録します。

⑥ MODE ボタン

本機から出力する映像信号を切り替えます。

このボタンを押すごとに、カラーバー信号とカメラ映像の信号が切り替わります。

⑦ GAIN ボタン [OFF] [LOW] [HI] [AUTO]

ゲインを設定します。

[OFF]、[LOW]、[HI] ボタンで、ゲインアップを 3 段階で設定できます。

また、[AUTO] ボタンを押すと AGC 機能が動作し、光量によりゲインが自動で調整されます。

AGC 機能の最大ゲインは、メニューで設定できます。

⑧ プリセットメモリー呼び出しボタン [1] ~ [12]

本機のプリセットメモリー No.1 ~ 12 に登録されている、本機の向きなどの情報を呼び出し、再現します。ワイヤレスリモコンからプリセットメモリー No.13 以上を呼び出すことはできません。

各部の名前とはたらき

9 PRESET、LIMIT ボタン

プリセットメモリーの登録やリミッターの設定・解除をします。

このボタンを押しながらプリセットメモリー呼び出しボタンを押すと、現在の向きなどの情報を登録します。プリセットメモリー呼び出しボタンの [1] ~ [12] は、本機のプリセットメモリー No.1 ~ 12 に対応しています。

また、このボタンと MENU ボタン、パン・チルトボタン ([▲] [▼] [◀] [▶]) の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限 (リミッター) の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(62 ページ) を参照してください。

10 パン・チルトボタン/メニュー操作ボタン

[▲] [▼] [◀] [▶] [O]

本機の向きを変えます。

[▲] [▼] ボタンで上下方向 (チルト)、[◀] [▶] ボタンで左右方向 (パン) に動きます。

このとき [O] ボタンは、機能しません。

[▲] または [▼] ボタンと、[◀] または [▶] ボタンを同時に押すと、斜め方向に動きます。

本機がメニューを表示しているときは、メニュー操作を行います。

[▲] [▼] ボタンで項目の選択、[◀] [▶] ボタンで値の変更を行います。

選択した項目にサブメニューがあるときは、[O] ボタンまたは [▶] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

メニュー表示中は、[O] ボタンと [▶] ボタンの機能は同じです。

値の変更が可能なときに [O] ボタンを押すと、値が変更されますので、ご注意ください。

11 FOCUS ボタン [F] [N]

レンズのフォーカスがマニュアル設定のとき、手動でレンズのフォーカスを調整します。

[F] ボタンで遠く (Far) へ、[N] ボタンで近く (Near) へフォーカスを調整します。

12 A/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスを自動で調整するように設定します。

13 M/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、FOCUS ボタン ([F]、[N]) で行います。

14 OPT ボタン [ON] [OFF]

将来の機能拡張用のボタンです。現在は使用しません。

15 HOME ボタン

2 秒間押すと、本機の向き (パン・チルト) を基準位置に戻します。

16 ZOOM ボタン [T] [W]

レンズのズームを調整します。

[T] ボタンで望遠 (Tele) へ、[W] ボタンで広角 (Wide) へレンズのズームを調整します。

17 FAST ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、高速側に切り替えます。

プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度も同様です。

18 SLOW ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、低速側に切り替えます。

プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度も同様です。

19 A/IRIS ボタン

レンズのアイリスを光量に合わせて自動で調整するように設定します。

20 M/IRIS ボタン

レンズのアイリスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、IRIS + ボタンと IRIS - ボタンで行います。

21 IRIS + ボタン

レンズのアイリスを開く方へ調整します。

22 IRIS - ボタン

レンズのアイリスを閉じる方へ調整します。

ご注意

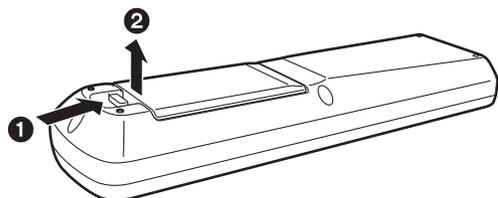
- アイリスがマニュアル調整のときにゲインを自動調整にすると、アイリスは自動的に自動調整に変更されます。その後ゲインをマニュアル調整に戻すと、アイリスも元の値に戻ります。
- ゲインが自動調整のときにアイリスをマニュアル調整にすると、ゲインは自動的に前回のゲイン値に変更されます。

ワイヤレスリモコンについて

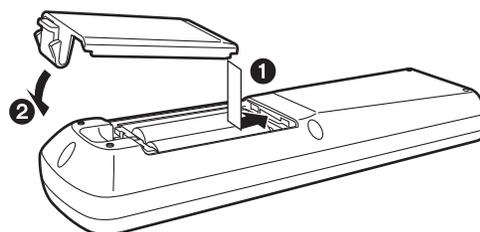
- 本機から 10 m 以内の場所でワイヤレスリモコンを操作してください。
- ワイヤレスリモコンは、本機との角度によっては動作しない場合があります。
ワイヤレスリモコン信号受光部（以下、受光部）が見える場所から、ワイヤレスリモコンの信号発光部を受光部に向けて操作してください。
- 本機を蛍光灯やプラズマモニターなどの近くに設置した場合や、太陽の光が当たる場合、それらの光の影響によってワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。
必ず以下の方法で設置・使用してください。
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニター、太陽などからの光が受光部に入らないようにする
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニターなどから離れた場所に設置する
 - ・ 本機から 3 m 以内の場所でワイヤレスリモコンを操作する
 - ・ 有線接続のコントローラーを使用する
- ワイヤレスリモコンは、電池を抜いても 10 分間程度は操作対象の選択（最後に押した [CAM1] ～ [CAM4] ボタン）を記憶していますが、さらに時間がたつと [CAM1] ボタンを押した状態にリセットされます。

ワイヤレスリモコンの準備

1 電池カバーを外す



3 電池カバーを取り付ける

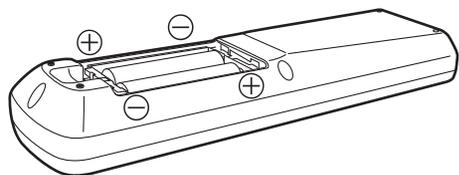


2 乾電池を入れる

単 3 形乾電池（別売）を 2 個使用します。

使用可能な電池：

単 3 形、AA、R6、R6P、R6PU、UM3、LR6
⊕ と ⊖ を確認し、乾電池の ⊖ 側を先に入れてください。



不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

撮影の基本操作

1 被写体の照度を適正にする

2 各機器の電源を入れる

3 操作する本機を選ぶ

本機を 1 台で使用する場合でも、必ずワイヤレスリモコンまたはコントローラーから本機を選択してください。

4 撮影モードを選ぶ

撮影状況に合わせて、あらかじめ設定された 4 種類の撮影モードから選択できます。

撮影条件、好みに応じて選択してください。

同じ撮影状況で使い続けるときは、再度選択する必要はありません。

5 撮影する

(終わったら各機器の電源を切る)

基本操作では、フォーカス、アイリス、ホワイトバランスを自動調整で行うように想定しています。

(工場出荷時の設定)

すでに設定が変更されていて、元の設定に戻す場合は、「撮影の基本操作で困ったときは」(26 ページ)、「メニュー項目」の「各撮影モードの設定メニュー」(53 ページ)を参照してください。

電源の入れかたと切りかた

■ 電源の入れかた

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1 接続している機器すべての電源スイッチを ON にする
 - 本機には、電源スイッチがありません。
本機に電源が供給されると、状態表示ランプが橙色に点灯します。
- 2 ワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ
- 3 ワイヤレスリモコンの [ON/STANBY] ボタンを 2 秒間押す
本機の電源が入り、初期設定動作を行います。
 - このとき本機の状態表示ランプは、緑色に点灯します。
- 4 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順 2 ~ 3 を繰り返す

本機の状態表示ランプは、リモコン ID が一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコン ID が異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

コントローラーを接続している場合

- 1 接続している機器すべての電源スイッチを ON にする
 - 本機には、電源スイッチがありません。
本機に電源が供給されると、状態表示ランプが橙色に点灯します。
- 2 コントローラーの [OPERATE] スイッチを ON にする
コントローラーに接続しているすべてのカメラ（本機を含む）の電源が入り、初期設定動作を行います。
 - このとき本機の状態表示ランプは、緑色に点灯します。

初期設定動作は、1 台につき約 30 秒かかる場合があります。この間、本機の操作はできません。

コントローラーの [OPERATE] スイッチを ON にする前に、必ず接続している機器すべての電源スイッチを ON にしてください。

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

電源の入れかたと切りかた

■ 電源の切りかた

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1 ワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ
- 2 ワイヤレスリモコンの [ON/STANBY] ボタンを 2 秒間押す
本機の電源が切れます。
 - このとき本機の状態表示ランプは、橙色に点灯します。
- 3 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順 1 と 2 を繰り返す
- 4 接続している機器すべての電源スイッチを OFF にする

コントローラーを接続している場合

- 1 コントローラーの [OPERATE] スイッチを OFF にする
コントローラーに接続しているすべてのカメラ（本機を含む）の電源が切れます。
 - このとき本機の状態表示ランプは、橙色に点灯します。
- 2 接続している機器すべての電源スイッチを OFF にする

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

本機を選択

付属のワイヤレスリモコン 1 台で、本機を最大 4 台まで操作することができます。
1 台のコントローラーからは、最大 5 台の本機を操作することができます。

ワイヤレスリモコンまたはコントローラーから操作したい本機を選択してください。
本機を 1 台で使用する場合でも、必ず選択をしてください。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

[CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押す

本機の状態表示ランプは、リモコン ID が一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコン ID が異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

コントローラーで操作する場合

AW-RP655 を接続している場合：

[CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押す

AW-RP555 を接続している場合：

[CONTROL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押す

AW-RP400/AW-CB400 を接続している場合：

[CONTROL SELECT] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押す

- AW-RP400 と AW-CB400 の両方から操作できますが、設定によって片方しか操作できない場合があります。

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

撮影モード（シーンファイル）の選択

■ 撮影モードの種類

本機には、撮影状況に合わせて、あらかじめ設定された 4 種類の撮影モードがあります。撮影条件や好みに応じて、撮影モードを選択してください。また、メニュー操作で設定値の変更を行うことができます。

- ホワイトバランスなどの調整結果は、撮影モードごとに別々に記憶されます。必ず、調整を行う前に撮影モードを選択してください。

ハロゲンライトモード (Halogen)

結婚披露宴、パーティ、講演会、イベント会場などの室内撮影に向いています。

蛍光灯モード (Fluorescent)

蛍光灯下の屋内での撮影に向いています。

デイトライトモード (Daylight)

日の光 (Daylight) の下での撮影に向いています。

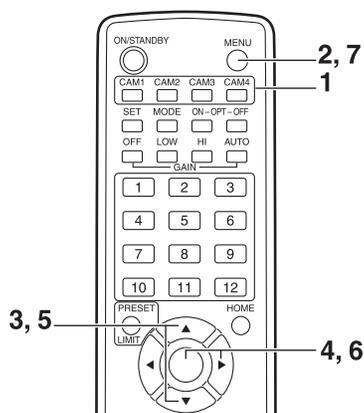
ユーザーモード (User)

詳細な設定項目を持つモードです。
設定の変更も詳細に行うことができます。

撮影モード（シーンファイル）の選択

■ 選択のしかた

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合



1 [CAM1]～[CAM4] ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

2 [MENU] ボタンを 2 秒間押し
メインメニューが表示されます。

```
** HE100 menu **  
  
Pan Tilt Head Setting  
Camera Setting
```

3 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Camera Setting」を点滅させる
[▲] または [▼] ボタンを押すごとに、点滅する項目が変わります。

4 [○] または [▶] ボタンを押す

「Camera Setting」のサブメニューが表示されます。

```
** Camera Setting **
```

```
Halogen  
Fluorescent  
Daylight  
User
```

```
Return
```

5 [▲] または [▼] ボタンを押して、使用する撮影モードを点滅させる

[▲] または [▼] ボタンを押すごとに、点滅する項目が変わります。

「Return」を点滅させて [○] または [▶] ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

6 [○] または [▶] ボタンを押す

点滅中の撮影モードに設定され、サブメニューが表示されます。

```
** Halogen Mode Set **
```

```
Brightness Set  
Color Set  
G/L, Setup Set  
Other Set
```

```
Initialize
```

```
Return
```

例：ハロゲンライトモード

7 [MENU] ボタンを 2 秒間押し

メニュー表示を終了します。

撮影モード（シーンファイル）の選択

コントローラーで操作する場合

AW-RP655 を接続している場合：

- 1 [CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ
- 2 [MENU] ボタンを押す
AW-RP655 の LCD パネルの表示が、メニューモードになります。
- 3 ジョグダイヤル（メイン）を回す
「CAMERA SETTING」を LCD パネルに表示させます。
- 4 [OK] ボタンを押す
「OPEN CAMERA MENU? → OK Key」を LCD パネルに表示させます。
- 5 もう一度 [OK] ボタンを押す
モニターにメインメニューが表示されます。
- 6 ジョグダイヤル（メイン）を押して、「Camera Setting」を点滅させる
- 7 ジョグダイヤル（メイン）を左に回す
モニターに「Camera Setting」のサブメニューを表示させます。

```
** Camera Setting **  
  
Halogen  
Fluorescent  
Daylight  
User  
  
Return
```

- 8 ジョグダイヤル（メイン）を押して、撮影モードを点滅させる
ジョグダイヤル（メイン）を押すごとに、点滅する項目が変わります。
「Return」を点滅させてジョグダイヤル（メイン）を左に回すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

9 ジョグダイヤル（メイン）を左に回す

点滅中の撮影モードに設定され、サブメニューが表示されます。

```
** Halogen Mode Set **  
  
Brightness Set  
Color Set  
G/L, Setup Set  
Other Set  
  
Initialize  
  
Return
```

例：ハロゲンライトモード

10 [MENU] ボタンまたは [R/B GAIN/PED] ボタンを押す

メニュー表示を終了します。

AW-RP555 を接続している場合：

- 1 [CONTROL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ
- 2 [SCENE FILE] の [1][2][3][USER] ボタンのいずれかを押し、撮影モードを選ぶ

撮影モード	[SCENE FILE] ボタン
Halogen	[1]
Fluorescent	[2]
Daylight	[3]
User	[USER]

AW-RP400/AW-CB400 を接続している場合：
(操作は AW-CB400 で行います)

- 1 [CONTROL SELECT] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ
- 2 [SCENE FILE] の [1] [2] [3] [USER] ボタンのいずれかを押し、撮影モードを選ぶ

撮影モード	[SCENE FILE] ボタン
Halogen	[1]
Fluorescent	[2]
Daylight	[3]
User	[USER]

撮影する

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

● カメラの向きを変える

左右に動かす（パン）：

[◀] または [▶] ボタンを押す。

上下に動かす（チルト）：

[▲] または [▼] ボタンを押す。

斜めに動かす：

[▲] または [▼] ボタンと、[◀] または [▶] ボタンを同時に押す。

基準の位置に戻す：

[HOME] ボタンを2秒間押す。

● ズーム機能を使う

拡大（ズームイン）：

[ZOOM] の [T] ボタン

縮小（ズームアウト）：

[ZOOM] の [W] ボタン

● 向きやズームのスピードを切り替える

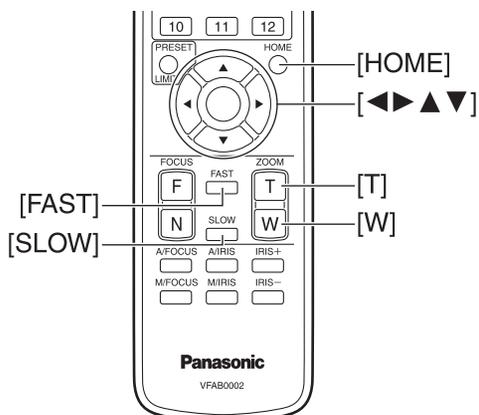
高速にする：

[FAST] ボタンを押す。

低速にする：

[SLOW] ボタンを押す。

レンズのフォーカスの制御スピードも同時に切り替わります。



コントローラーで操作する場合

● カメラの向きを変える

左右に動かす（パン）：

[PAN/TILT] レバーをL方向またはR方向に傾ける。

上下に動かす（チルト）：

[PAN/TILT] レバーをUP方向またはDOWN方向に傾ける。

斜めに動かす：

[PAN/TILT] レバーを斜めに傾ける。

基準の位置に戻す：

[HOME] ボタンがあるコントローラーの場合、[HOME] ボタンを押す。

● ズーム機能を使う

拡大（ズームイン）：

[ZOOM] レバーをTELE方向に傾ける。

縮小（ズームアウト）：

[ZOOM] レバーをWIDE方向に傾ける。

● 向きやズームのスピードを変える

AW-RP655 と AW-RP555：

[SPEED] ボタンを押す

[SPEED] ボタンを押すごとに、制御スピードを高速（ボタン消灯）と低速（ボタン点灯）に切り替えます。レンズのフォーカスの制御スピードも同時に切り替わります。

AW-RP400：

[SPEED CONTROL] の [PAN]、[TILT]、[ZOOM] ダイアルを回す

ダイアルを反時計方向に絞り込むと、全く動作させないようにもできます。

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

撮影の基本操作で困ったときは

下記で解決しないときは、「故障と思ったら」(64 ページ)を参照してください。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

本機が動かない

- [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押して、操作したい本機を選択してください。
本機が 1 台のみの場合、通常は [CAM1] ボタンで選択できます。
- 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。「電源の入れかた」(19 ページ)を参照して電源を入れてください。
- ワイヤレスリモコンを本機のワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、本機の状態表示ランプが点滅しない場合は、ワイヤレスリモコンの電池が消耗しています。
電池を交換してください。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

[MODE] ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

メニュー画面が表示される

[MENU] ボタンを 2 秒間押して、メニューを終了してください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

[A/FOCUS] ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

1. [A/IRIS] ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
2. [GAIN] の [AUTO] ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(35 ページ)を参照して「ATW」に切り替えてください。

コントローラーで操作する場合

本機が動かない

- 次の方法で、操作したい本機を選択してください。

AW-RP655 を接続している場合：

[CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押してください。

AW-RP555 を接続している場合：

[CONTROL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押してください。

AW-RP400/AW-CB400 を接続している場合：

[CONTROL SELECT] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押してください。

- コントローラーの [OPERATE] ランプが消灯している場合は、コントローラーの電源が入っていません。
- 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。「電源の入れかた」(19 ページ)を参照して電源を入れてください。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

[MODE] ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

メニュー画面が表示される

[MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

[EXT(AF)] ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

1. [IRIS] ボタンを何度か押して点灯させ、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
2. [GAIN] ボタンを何度か押して点灯させ、ゲイン調整を自動に切り替えてください。
AW-RP400 を接続している場合は、AW-CB400 の [AGC] ボタンを押してください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(35 ページ)を参照して「ATW」に切り替えてください。

より高度な使いかた

マニュアル撮影

- フォーカスのマニュアル調整
- アイリスのマニュアル調整
- シャッタースピードのマニュアル調整
- ゲインのマニュアル調整

プリセットメモリー

- カメラの向き（パンとチルト）、ズーム、フォーカス、アイリスを最大 100 件登録して、再生することができます。
- 登録・再生できる件数は、操作に使用するワイヤレスリモコン（12 件）やコントローラーの種類によって異なります。

ホワイトバランス調整

- 白を正確に表現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要です。
- 一度とると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

ブラックバランス調整

- 黒を正確に再現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。
- 一度とると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

黒レベル（トータルペDESTAL）調整

- 複数のカメラの黒レベル（ペDESTALレベル）を合わせるときに調整します。
- 調整は販売店に依頼してください。

ゲンロック調整

- 複数のカメラを使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるための調整です。
- 調整は販売店に依頼してください。

マニュアル撮影

■ フォーカスのマニュアル調整

レンズのフォーカスをマニュアルで調整することができます。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1 [M/FOCUS] ボタンを押して、フォーカスをマニュアル調整に切り替える
- 2 [FOCUS] の [F] または [N] ボタンを押して、フォーカスを調整する
[F] ボタンを押すと遠くへ (Far)、N ボタンを押すと近くへ (Near) フォーカスが移動します。
また、[FAST] [SLOW] ボタンでフォーカスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。
- 3 必要に応じてフォーカスを自動調整に戻すには、[A/FOCUS] ボタンを押す

コントローラーで調整する場合

AW-RP655 を接続している場合：

- 1 [EXT(AF)] ボタンを押して、フォーカスをマニュアル調整に切り替える
- 2 [PAN/TILT] レバーまたは [ZOOM] レバーのうち、[FOCUS] ランプが点灯している方の上部にあるダイヤルを回して、フォーカスをマニュアル調整する
また、[SPEED] ボタンを押すごとに、フォーカスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。
- 3 必要に応じてフォーカスを自動調整に戻すには、[EXT(AF)] ボタンを押す

AW-RP555 を接続している場合：

- 1 [EXT(AF)] ボタンを押して、フォーカスをマニュアル調整に切り替える
- 2 [FOCUS] レバーを傾けてフォーカスをマニュアル調整する
また、[SPEED] ボタンを押すごとに、フォーカスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。
- 3 必要に応じてフォーカスを自動調整に戻すには、[EXT(AF)] ボタンを押す

AW-RP400 を接続している場合：

- 1 [EXT(AF)] ボタンを押して、フォーカスをマニュアル調整に切り替える
- 2 [ZOOM] レバーの近くにある [FOCUS] ダイアルを回してフォーカスをマニュアル調整する
また、[SPEED CONTROL] の [FOCUS] ダイアルを回してフォーカスのスピードを調整できます。
ダイヤルを反時計方向に絞り込むと、全く動作させないようにもできます。
- 3 必要に応じてフォーカスを自動調整に戻すには、[EXT(AF)] ボタンを押す

ご注意

- フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。本機はその補正機能を持ちます。(ズーム操作中のフォーカス補正機能)
この機能は出荷状態では ON になっています。
この機能を OFF にした場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
- AW-RP400 からオートフォーカスの ON/OFF を切り替える場合は、OPTION SW に「EXT」機能を割り当ててご使用ください。

マニュアル撮影

■ アイリスのマニュアル調整

レンズのアイリスをマニュアルで調整することができます。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1 [M/IRIS] ボタンを押して、アイリスをマニュアル調整に切り替える
- 2 [IRIS +] または [IRIS -] ボタンでアイリスを調整する
[IRIS +] ボタンを押すと開く方へ、[IRIS -] ボタンを押すと閉じる方へ動作します。
- 3 必要に応じてアイリスを自動調整に戻すには、[A/IRIS] ボタンを押す

コントローラーで調整する場合

AW-RP655 を接続している場合：

- 1 [IRIS] ボタンを何度か押し、ボタンを消灯させ、マニュアル調整に切り替える
- 2 [PAN/TILT] レバーまたは [ZOOM] レバーのうち、[IRIS] ランプが点灯している方の上部にあるダイヤルを回してアイリスをマニュアル調整する
- 3 必要に応じてアイリスを自動調整に戻すには、[IRIS] ボタンを何度か押し、ボタンを点灯させる

AW-RP555 を接続している場合：

- 1 [IRIS] ボタンを押し、ボタンを消灯させ、マニュアル調整に切り替える
- 2 [IRIS] の [LEVEL] ダイアルを回してアイリスをマニュアル調整する
- 3 必要に応じてアイリスを自動調整に戻すには、[IRIS] ボタンを押し、ボタンを点灯させ、自動調整に切り替える

AW-RP400/AW-CB400 を接続している場合：

- 1 [IRIS] ボタンを何度か押し、ボタンを消灯させ、マニュアル調整に切り替える
- 2 [IRIS] ダイアルを回してアイリスをマニュアル調整する
- 3 必要に応じてアイリスを自動調整に戻すには、[IRIS] ボタンを何度か押し、ボタンを点灯させる

ご注意

- アイリスがマニュアル調整のときにゲインを自動調整にすると、アイリスは自動的に自動調整に変更されます。
その後ゲインをマニュアル調整に戻すと、アイリスも元の値に戻ります。
- ゲインが自動調整のときにアイリスをマニュアル調整にすると、ゲインは自動的に前回のゲイン値に変更されます。

マニュアル撮影

■シャッタースピードのマニュアル調整

シャッタースピードは2種類の方法で設定することができます。ひとつは時間での指定方法（1/250秒など）、もうひとつは周波数での指定方法（シンクロスキャン、60 Hzなど）です。

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影する時、画面の周波数に合わせてシンクロスキャンで調整すると、画面を撮影した時に発生する水平方向のノイズを最小限にできます。

シンクロスキャンはユーザーモードでのみ指定可能です。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

カメラ設定メニューにて調整します。

詳しくは55ページの項目 [Step]、[Shutter Mode]、[Step/Synchro] を参照してください。

コントローラーで調整する場合

「メニューの基本操作」（43～50ページ）の操作要領で、「付属のワイヤレスリモコンで操作する場合」と同様に操作できます。

AW-RP555 を接続している場合は、次の手順でも調整できます。

1 [SHUTTER] ボタンを押して点灯させる

あらかじめ設定されたシャッタースピードに切り替わります。

2 必要に応じてシャッター OFF に戻すには、[SHUTTER] ボタンを押して消灯させる

AW-RP555 でのシャッタースピードの設定は次の手順で行います。

1 [MEMORY] ボタンを押しながら [SHUTTER] ボタンを押す。

[PRESET] の [1] ～ [5] と、[8] [10] ボタンが交互に点滅します。

2 設定したいシャッタースピードに対応する、[PRESET] の [1] ～ [5]、[8]、[10] ボタンのいずれかを押す

設定できるシャッター速度は以下の通りです。

[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
1/100	1/250	1/500	1/1000	1/2000
[8]		[10]		
シンクロスキャン		OFF		

- シャッタースピードの変更は、次回 [SHUTTER] ボタンを押して点灯させたときに反映されます。
- OFF に設定すると、[SHUTTER] ボタンを押してもシャッターは動作しません。
- シンクロスキャンの設定値はメニュー操作で設定してください。
- この設定は AW-RP555 の電源が切れても記憶されます。

詳しくは、AW-RP555 の取扱説明書をご覧ください。

マニュアル撮影

■ ゲインのマニュアル調整

ゲインの調整は、ワイヤレスリモコンやコントローラーのボタンなどで調整する方法と、カメラ設定メニューで調整する方法があります。

カメラ設定メニューではより細かな調整が可能です。

詳しくは、55 ページの項目 [Gain] を参照してください。

ご注意

- ゲインを調整する際、光量が急激に変化する（映像出力にショックが出る）場合があります。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1 [OFF] [LOW] [HI] ボタンのいずれかを押す**
ゲインアップを 3 段階で切り替えられます。
- 2 必要に応じてゲインを自動調整 (AGC) に戻すには、[AUTO] ボタンを押す**

コントローラーで操作する場合

AW-RP655 を接続している場合：

- 1 [GAIN] ボタンを押して、[MANU] ランプを点灯させる**
あらかじめ設定されたゲインアップ量に切り替わります。
ゲインアップ量の設定については、AW-RP655 の取扱説明書をご覧ください。
- 2 必要に応じてゲインを自動調整 (AGC) に戻すには、[GAIN] ボタンを押して [AUTO] ランプを点灯させる**

AW-RP555 を接続している場合：

- 1 [GAIN] ボタンを押して消灯させる**
[GAIN] ボタンを押すごとに、ゲインアップを 3 段階で切り替えられます。

現在の状態は次のように表示されます。

	[MANU] [L] ランプ	[MANU] [H] ランプ	[GAIN] ボタン
0 dB	消灯	消灯	消灯
LOW	点灯	消灯	消灯
HIGH	消灯	点灯	消灯
AUTO	消灯	消灯	点灯

- 2 必要に応じてゲインを自動調整 (AGC) に戻すには、[GAIN] ボタンを何度か押して点灯させる**

AW-RP400/AW-CB400 を接続している場合：
(操作は AW-CB400 で行います)

- 1 [GAIN] の [0dB] [L] [M] [H] ボタンのいずれかを押して点灯させる**
ゲインアップを 4 段階で切り替えられます。
[L] [M] [H] ボタンには、それぞれゲインアップ量が設定できます。
詳しくは、AW-CB400 の取扱説明書をご覧ください。

- 2 必要に応じてゲインを自動調整 (AGC) に戻すには、[AGC] ボタンを押して点灯させる**

どの場合も、自動調整 (AGC) の最大ゲインはメニューで設定できます。

55 ページの項目 [AGC Max Gain] を参照してください。

プリセットメモリー

本機は、カメラの向き（パンとチルト）、ズーム、フォーカス、アイリスを最大 100 件登録し、再生することができます。ただし、操作に使用するワイヤレスリモコンやコントローラーの種類によって、登録・再生できる件数は異なります。

- フォーカスとアイリスについて、マニュアル設定かオート設定かの状態は登録しません。
現在のフォーカス値、アイリス値を登録します。
- フォーカスとアイリスは、マニュアル設定のときのみ再生できます。

ご注意

- 登録時と再生時の環境温度が大きく異なると、プリセット位置にズレが生じる場合があります。
- ズレが生じた場合は、再登録をしてください。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

ワイヤレスリモコンで登録・再生が可能な件数は 12 件（プリセット No.1 ~ 12）です。

[1] ~ [12] のボタンは、本機のプリセットメモリー No.1 ~ 12 に対応しています。

●プリセットメモリーの登録

1 撮影する映像をモニターに映す

パン・チルトボタンやズームボタンを操作して、カメラアングルを決めます。

必要に応じてフォーカスとアイリスを調整してください。

2 [PRESET] ボタンを押しながら、登録したいプリセットメモリー No. のボタンを押す

- 登録済みのプリセットメモリー No. を指定した場合は、以前の内容を消して新たに登録します。

●プリセットメモリーの再生

1 プリセットメモリーが登録されているボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP655 を接続している場合：

登録・再生が可能な件数は 50 件です。

[TRACING/PRESET MEMORY] の [1] ~ [50] ボタンは、本機のプリセットメモリー No.1 ~ 50 に対応しています。

●プリセットメモリーの登録

1 プリセットメモリーモードにする

[TR/PSET] ボタンを押して、ボタンを消灯します。

2 メモリー記録モードにする

[M.LOCK] ボタンを押して、ボタンを消灯します。

3 撮影する映像をモニターに映す

[PAN/TILT] レバーと [ZOOM] レバーを操作して、カメラアングルを決めます。

必要に応じてフォーカスとアイリスを調整してください。

4 [MEMORY] ボタンを押したままの状態にする

このとき [TRACING/PRESET MEMORY] の [1] ~ [50] ボタンの中で、登録可能なボタンが順次点滅を開始します。

- 消灯しているボタンには、プリセットメモリーは登録できません。（すでにトレーシングメモリーが登録されています。）

5 [MEMORY] ボタンを押したままの状態、登録したいプリセットメモリー No. のボタンを押す

プリセットメモリー

●プリセットメモリーの再生

1 プリセットメモリーモードにする

[TR/PSET] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

2 [TRACING/PRESET MEMORY] の [1] ~ [50] からプリセットメモリーが登録されているボタンを押す

●プリセットメモリーの消去

1 プリセットメモリーモードにする

[TR/PSET] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

2 メモリー記録モードにする

[M.LOCK] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

3 [RESET] ボタンを押したままの状態にする

このとき [TRACING/PRESET MEMORY] の [1] ~ [50] ボタンの中で、消去可能なボタンが順次点滅を開始します。

- 消灯しているボタンは、消去できません。(すでにトレーシングメモリーが登録されています。)

4 [RESET] ボタンを押したままの状態、消去したいプリセットメモリー No. のボタンを押す

AW-RP555 を接続している場合：

登録・再生が可能な件数は 10 件です。

[PRESET] の [1] ~ [10] ボタンは、本機のプリセットメモリー No.1 ~ 10 に対応しています。

●プリセットメモリーの登録

1 撮影する映像をモニターに映す

[PAN/TILT] レバーと [ZOOM] レバーを操作して、カメラアングルを決めます。
必要に応じてフォーカスとアイリスを調整してください。

2 [MEMORY] ボタンを押したままの状態にする

このとき [PRESET] の [1] ~ [10] ボタンの中で、登録可能なボタンが順次点滅を開始します。

3 [MEMORY] ボタンを押したままの状態、登録したいプリセットメモリー No. のボタンを押す

●プリセットメモリーの再生

1 [PRESET] の [1] ~ [10] からプリセットメモリーが登録されているボタンを押す

AW-RP400 を接続している場合：

登録・再生が可能な件数は 50 件です。

[PRESET MEMORY] の [1] ~ [50] ボタンは、本機のプリセットメモリー No.1 ~ 50 に対応しています。

●プリセットメモリーの登録

1 撮影する映像をモニターに映す

[PAN/TILT] レバーと [ZOOM] レバーを操作して、カメラアングルを決めます。
必要に応じてフォーカスとアイリスを調整してください。

2 [MEMORY] ボタンを押したままの状態にする

3 [MEMORY] ボタンを押したままの状態、登録したいプリセットメモリー No. のボタンを押す

●プリセットメモリーの再生

1 [PRESET MEMORY] の [1] ~ [50] からプリセットメモリーが登録されているボタンを押す

ホワイトバランス調整

■ ホワイトバランス調整

白を正確に再現するために、RGB 三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要です。

調整は自動または手動（自動調整後の微調整）で行うことができます。

このほかにプリセット値や、常にホワイトバランスを自動的に調整し続ける「自動追尾式ホワイト調整（ATW）」を選ぶことができます。

ホワイトバランスの調整結果は、ホワイトバランスに「AWC A」または「AWC B」を選択したとき、AとBの2個所のメモリーにセット（記憶）しておくことができます。

- 設定内容と同条件下で使用する場合は一度調整しておくと、メニューで選択、またはコントローラーのボタンを押すだけで設定完了です。改めてセットする必要はありません。
- 新たにセットすると以前の内容は消去されます。

撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

● 自動調整（AWC：AWC A/AWC B）

1 白い被写体（白壁や白いハンカチなど）を画面いっぱい

- 光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 手順 2～7 は、メモリー「AWC A」または「AWC B」を選択するための手順です。すでに選択済みの場合は不要です。

2 「撮影モード（シーンファイル）の選択」（22 ページ）の手順で撮影モードを設定する

このとき、サブメニュー「Mode Set」を表示したままにしておきます。

** Halogen Mode Set **

Brightness Set
Color Set
G/L, Setup Set
Other Set

Initialize

Return

例：ハロゲンライトモード

3 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Color Set」を点滅させる

4 [○] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「Color Set」が表示されます。

** Color Set **

Chroma Level +1
White Bal AWC A

Return

ホワイトバランス調整

5 [▲] または [▼] ボタンを押して、「White Bal」の値を点滅させる

6 [◀] または [▶] ボタンを押して、「AWC A」または「AWC B」を表示する

- 「ATW」のときは、セット（記憶）できません。

7 [MENU] ボタンを 2 秒間押す

メニュー表示を終了します。

8 [SET] ボタンを 2 秒間押す

自動ホワイトバランス調整 (AWC) と自動ブラックバランス調整 (ABC) を実行し、ホワイトバランスがセットされます。

- ブラックバランスも同時にセットされます。このときレンズをクローズにして調整を行いますので、画面が一時黒くなります。
- カラーバーを表示していると、調整できません。[MODE] ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。

コントローラーで調整する場合

2 [WHITE BAL] の [A] ボタンまたは [B] ボタンを押して、ホワイトバランスに「AWC A」または「AWC B」を選択する

選択されたボタンが点灯します。

- 「ATW」を選択している場合は、セットされません。

3 [AWC] ボタンを押す

自動ホワイトバランス調整 (AWC) を実行し、ホワイトバランスがセットされます。

ホワイトバランスの調整中は、[AWC] ボタンが点滅し、正常に調整すると消灯します。調整できなかった場合には点灯します。

- カラーバーを選択 ([MODE] ボタンまたは [BAR/CAM] ボタンが点灯) している場合、または ATW を選択 ([ATW] ボタンが点灯) している場合は、[AWC] ボタンは機能しないか、自動ホワイトバランスの調整に失敗します。(ボタンが点灯)

ご注意

- 被写体照度が不足している場合は、ホワイトバランスが正しく調整できないことがあります。
- ホワイトバランスをセットしたあとは、本機の電源を切っても内蔵のメモリーに長時間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合（撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など）はホワイトバランスをセットし直してください。
- カメラ単体で使用するとき、ホワイトバランスをセットすると、ペインティングの R/B ゲイン調整の設定は ±0 へ戻ります。
(ペインティングの設定はユーザーモードのみ)

●自動追尾式ホワイト調整 (ATW)

ホワイトバランス調整を「ATW」に設定すると、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動補正し、違和感のない映像にします。

「ホワイトバランス調整」の「自動調整」の手順 (34 ページ) で、「AWC A」や「AWC B」の代わりに「ATW」を選択すると機能します。

ご注意

- 高輝度 (蛍光灯など) が画面に入った場合、ATW が正しく動作しないときがあります。
- 画面上に白い被写体がない場合、ホワイトバランスがずれることがあります。
- 太陽光と蛍光灯など、異なる種類の光源がある場合、ホワイトバランスがずれることがあります。

● 3200K・5600K プリセット

ホワイトバランスに「3200K」または「5600K」を選択すると、それぞれ色温度 3,200K (ハロゲンライト相当)、5,600K (デイライト相当) でホワイトバランスがセットされた状態になります。

「ホワイトバランス調整」の「自動調整」の手順 (34 ページ) で、「AWC A」や「AWC B」の代わりに「3200K」または「5600K」を選択すると機能します。

(コントローラーからは、メニューを表示しての操作のみ可能です。「メニューの基本操作」(43 ページ) をご覧ください。)

ホワイトバランス調整

●手動調整

ユーザーモードのときのみ手動調整ができます。

調整はオシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用、または映像の白の部分が白になるように調整してください。

- 1 白い被写体をモニター画面いっぱいに映す
- 2 ユーザーモードに設定し、ホワイトバランスを「AWC A」または「AWC B」を選択したあと、ホワイトバランスの自動調整を行う（34 ページ）

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 3 「撮影モード（シーンファイル）の選択」（23 ページ）の手順でユーザーモードに設定する

このとき、サブメニュー「User Mode Set」を表示したままにしておきます。

```
** User Mode Set **  
  
Brightness Set  
Color Set  
G/L, Setup Set  
Sharpness(DTL) Set  
Other Set  
  
Initialize  
  
Return
```

- 4 [▲] または [▼] ボタンを押し、「Color Set」を点滅させる

- 5 [○] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「Color Set」が表示されます。

```
** Color Set **  
  
Chroma Level          +1  
White Bal              AWC A  
Pedestal               +1  
Painting  
R Gain                 +1  
B Gain                 +1  
  
Return
```

- 6 [▲] または [▼] ボタンを押し、「R Gain」または「B Gain」の値を点滅させる

- 7 [◀] または [▶] ボタンを押し、値を変更し、映像信号の白の部分のキャリアが最小になるように、または映像の白の部分が白になるように調整する

- 8 [MENU] ボタンを 2 秒間押す
メニュー表示を終了します。

コントローラーで調整する場合

「メニューの基本操作」（45 ページ）の操作要領で、「付属のワイヤレスリモコンで操作する場合」と同様に手順 3 以降の操作が可能です。

AW-RP655 を接続している場合：

- 3 [R/B GAIN/PED] ボタンを押して、LCD パネルに [GAIN] の項目が表示されるようにする

- 4 ジョグダイヤル (L) で [R] (赤) のゲインを調整し、ジョグダイヤル (R) で [B] (青) のゲインを調整する

AW-CB400 を接続している場合は、[GAIN] ダイアルでも調整できます。

ブラックバランス調整

■ ブラックバランス調整

黒を正確に再現するために、RGB 三原色のゼロレベルを調整します。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったとき
- 周囲の温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目など

● 自動調整

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

手順は「ホワイトバランス調整」の「自動調整」(34 ページ)と同じです。

自動ホワイトバランス調整 (AWC) と自動ブラックバランス調整 (ABC) を実行し、ブラックバランスをセットすることができます。

- ホワイトバランスも同時にセットされますので、ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。
- カラーバーを表示していると、調整できません。
[MODE] ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。

コントローラーで調整する場合

1 [ABC] ボタンを押す

自動ブラックバランス調整を実行し、ブラックバランスをセットします。

ブラックバランスの調整中は、[ABC] ボタンまたは LED が点滅し、正常に調整すると消灯します。調整できなかった場合は点灯します。

- カラーバーを選択 ([MODE] ボタンまたは [BAR/CAM] ボタンが点灯) している場合は、[ABC] ボタンは機能しないか、自動ブラックバランス調整に失敗します。(ボタンが点灯)

黒レベル（トータルペデスタル）調整

■ 黒レベル（トータルペデスタル）調整

本機を含むカメラを複数台使用しているときに、黒レベルを合わせることができます。調整は販売店に依頼してください。

（調整はオシロスコープまたはウェブフォームモニターを使用）

黒レベルの調整は、使用する機器に合わせてください。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

付属のワイヤレスリモコンでは、ユーザーモードのときのみ、黒レベルを調整することができます。

1 [M/IRIS] ボタンを押す

アイリスをマニュアルモードにします。

2 [IRIS -] ボタンを押す

レンズのアイリスを絞り込みます。

3 「撮影モード（シーンファイル）の選択」の「選択のしかた」（23 ページ）の手順でユーザーモードを選択する

このとき、サブメニュー「User Mode Set」を表示したままにしておきます。

** User Mode Set **

Brightness Set
Color Set
G/L, Setup Set
Sharpness(DTL) Set
Other Set

Initialize

Return

4 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Color Set」を点滅させる

5 [○] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「Color Set」が表示されます。

** Color Set **

Chroma Level	+1
White Bal	AWC A
Pedestal	+1
Painting	
R Gain	+1
B Gain	+1

Return

6 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Pedestal」の値を点滅させる

7 [◀] または [▶] ボタンを押して、値を変更する

黒レベルが 5 IRE (0.035V) または、7.5 IRE (0.050V) になるように調整します。

8 [MENU] ボタンを 2 秒間押す

メニュー表示を終了します。

9 必要に応じて、[A/IRIS] ボタンを押して、アイリスを自動調整にする

黒レベル（トータルペデスタル）調整

コントローラーで調整する場合

AW-RP655 を接続している場合：

- 1 [IRIS] ボタンを何度か押して、ボタンを消灯させる
アイリスをマニュアルモード（[MANU]）にします。
- 2 [FOCUS/IRIS] ダイアルを回して、レンズのアイリスを絞り込む
- 3 [R/B GAIN/PED] ボタンを何度か押して、LCD パネルに「PEDESTAL TOTAL」の項目が表示されるようにする
- 4 ジョグダイアル（メイン）で黒レベルが 5 IRE（0.035V）または、7.5 IRE（0.050V）になるように調整する
- 5 必要に応じて、アイリスを自動調整にする
→ [IRIS] ボタンを何度か押して、ボタンを点灯させる

AW-RP555 を接続している場合：

- 1 [IRIS] ボタンを何度か押して、ボタンを消灯させる
アイリスをマニュアルモード（[MANU]）にします。
- 2 [IRIS] の [LEVEL] ダイアルを回して、レンズのアイリスを絞り込む
- 3 「メニューの基本操作」（47 ページ）の操作要領で、「付属のワイヤレスリモコンで操作する場合」の手順 3～8 と同じ操作をする

AW-RP400/AW-CB400 を接続している場合：
（操作は AW-CB400 で行います）

- 1 [IRIS] ボタンを何度か押して、ボタンを消灯させる
アイリスをマニュアルモード（[MANU]）にします。
- 2 [IRIS] ダイアルを回して、レンズのアイリスを絞り込む
- 3 [PED] ダイアルで黒レベルが 5 IRE（0.035V）または、7.5 IRE（0.050V）になるように調整する
- 4 必要に応じて、アイリスを自動調整にする
→ [IRIS] ボタンを何度か押して、ボタンを点灯させる

また、「付属のワイヤレスリモコンで操作する場合」の手順 3～8 の操作は、「メニューの基本操作」（43～50 ページ）の操作要領で可能です。

ゲンロック調整

■ ゲンロック調整

本機を複数台使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるためには位相調整をする必要があります。

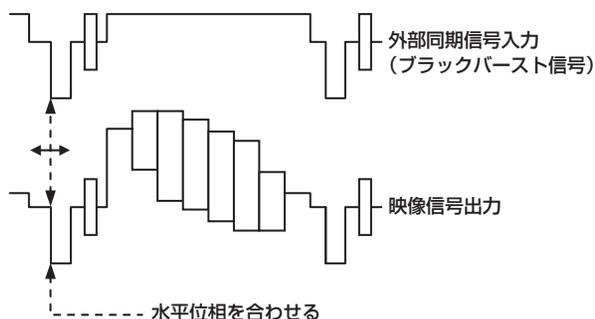
本機は BBS または VBS の外部同期信号に対応します。

調整は販売店に依頼してください。

(調整は 2 現象オシロスコープを使用)

● 水平位相調整

外部同期信号入力（ブラックバースト信号）と映像信号出力の波形を 2 現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようにワイヤレスリモコンまたはコントローラーで調整します。



付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

1 「撮影モード（シーンファイル）の選択」（23 ページ）の手順で撮影モードを選択する

このとき、サブメニュー「Mode Set」を表示したままにしておきます。

- 水平位相調整は、すべての撮影モード（シーンファイル）で共通ですが、ワイヤレスリモコンで調整する場合は撮影モードの選択が必要となります。このため、これから使用する撮影モードを選択するか、あとで撮影モードを選択し直してください。

** Halogen Mode Set **

Brightness Set
Color Set
G/L, Setup Set
Other Set

Initialize

Return

例：ハロゲンライトモード

2 [▲] または [▼] ボタンを押して、「G/L, Setup Set」を点滅させる

3 [○] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「G/L, Setup Set」が表示されます。

** G/L, Setup Set **

H Phase +1
SC Coarse 180deg
SC Fine ±0
Setup Level 0n

Return

4 [▲] または [▼] ボタンを押して、「H Phase」の値を点滅させる

5 [◀] または [▶] ボタンを押す、値を変更し、水平位相が合うように調整する

6 [MENU] ボタンを 2 秒間押す

メニュー表示を終了します。

ゲンロック調整

コントローラーで調整する場合

「メニューの基本操作」(43～50 ページ) の操作要領で、「付属のワイヤレスリモコンで操作する場合」と同様に操作できます。

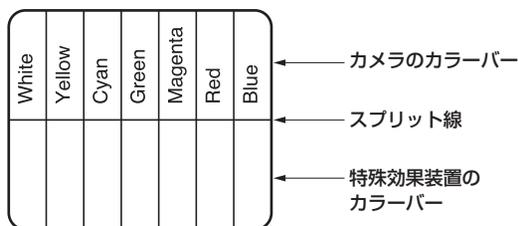
●色位相調整

映像出力信号をコンポジット信号または Y/C 信号に設定したときに、ビデオスイッチャーなどで映像を切り替える場合、色位相調整が必要です。

コンポーネント信号を設定した場合は、調整の必要がありません。

カラー特殊効果装置のプログラム出力(スプリットされたカラーバー出力)など、基準とする色調に、カメラの色位相を合わせます。

(ベクトルスコープで調整しますとより精度の高い調整ができます。)



付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

1 [MODE] ボタンを押す

カラーバー表示に切り替えます。

2 「撮影モード(シーンファイル)の選択」(23 ページ)の手順で撮影モードを選択する

このとき、サブメニュー「Mode Set」を表示したままにしておきます。

- 色位相調整は、すべての撮影モード(シーンファイル)で共通ですが、ワイヤレスリモコンで調整する場合は撮影モードの選択が必要となります。このため、これから使用する撮影モードを選択するか、あとで撮影モードを選択し直してください。

```
** Halogen Mode Set **  
  
Brightness Set  
Color Set  
G/L, Setup Set  
Other Set  
  
Initialize  
  
Return
```

例：ハロゲンライトモード

3 [▲] または [▼] ボタンを押して、「G/L, Setup Set」を点滅させる

4 [○] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「G/L, Setup Set」が表示されます。

```
** G/L, Setup Set **  
  
H Phase                +1  
SC Coarse              180deg  
SC Fine                ±0  
Setup Level            0n  
  
Return
```

ゲンロック調整

5 [▲] または [▼] ボタンを押して、「SC Coarse」または「SC Fine」の値を点滅させる

「SC Coarse」で粗調整を行い、「SC Fine」で微調整を行います。

6 [◀] または [▶] ボタンを押し、値を変更し、色位相が合うように調整する

7 [MENU] ボタンを 2 秒間押す

メニュー表示を終了します。

8 [MODE] ボタンを押す

カメラ映像表示に切り替えます。

コントローラーで調整する場合

「メニューの基本操作」(43 ~ 50 ページ) の操作方法で、「付属のワイヤレスリモコンで操作する場合」の手順 **2** ~ **7** と同様に操作できます。

「BAR」(カラーバー表示) と「CAM」(カメラ映像) の切り替えは、[MODE] または [BAR/CAM] ボタンを押してください。

メニューの基本操作

本機の設定を行うときは、モニターにメニューを表示します。

モニターは、映像信号の出力端子（VIDEO OUT 端子または HD/SD ANALOG 端子）に接続します。

メニューの基本操作は、メインメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。

サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。

メニュー操作は、付属のワイヤレスリモコンで行います。

コントローラーを接続している場合は、コントローラーからも操作できます。

- コントローラーは、AW-HE100 に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。

詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ここでは、付属のワイヤレスリモコンとコントローラー（AW-RP655、AW-RP555、AW-RP400/AW-CB400）でメニュー項目を変更するための基本操作を説明します。

各項目についての操作は、付属のワイヤレスリモコンを使って行う操作手順のみを記載します。

コントローラーでの操作は、下記の基本操作を参考に読み替えてください。

また、コントローラーの取扱説明書も参照してください。

操作の一覧

メニューの操作	リモコン	コントローラー		
		AW-RP655	AW-RP555	AW-RP400/AW-CB400 (操作はAW-CB400で行います)
操作するカメラを選ぶ	[CAM1]～[CAM4] ボタンのいずれかを押す。	[CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL] の [1]～[5] ボタンのいずれかを押す。	[CONTROL] の [1]～[5] ボタンのいずれかを押す。	[CONTROL SELECT] の [1]～[5] ボタンのいずれかを押す。
メインメニューを表示する	[MENU] ボタンを 2 秒間押す。	1. [MENU] ボタンを押す。 AW-RP655 の LCD パネルの表示が、メニューモードになります。 2. ジョグダイヤル（メイン）を回して、「CAMERA SETTING」を LCD パネルに表示させる。 3. [OK] ボタンを押して、「OPEN CAMERA MENU? → OK Key」を LCD パネルに表示させる。 4. もう一度 [OK] ボタンを押す。	[MENU] ボタンを 2 秒間押す。	[OPTION SW] の [A] ボタンを 2 秒間押す。
項目を選ぶ	[▲] または [▼] ボタンを押す。	ジョグダイヤル（L）を回す。	[MENU] または [ITEM] ボタンを押す。	[OPTION SW] の [A] または [B] ボタンを押す。
サブメニューを表示させる	[O] または [▶] ボタンを押す。	ジョグダイヤル（L）を押す。	[YES] ボタンを押す。	[OPTION SW] の [C] ボタンを押す。
ひとつ前のメニューに戻る	[Return] を点滅させた状態で [O] または [▶] ボタンを押す。	[Return] を点滅させた状態で ジョグダイヤル（L）を押す。	[Return] を点滅させた状態で [YES] ボタンを押す。	[Return] を点滅させた状態で [OPTION SW] の [C] ボタンを押す。
設定値を変更する	[◀] または [▶] ボタンを押す。	ジョグダイヤル（R）を回す。	[YES] または [NO] ボタンを押す。	[OPTION SW] の [C] または [D] ボタンを押す。
メニュー操作を終了する	[MENU] ボタンを 2 秒間押す。	[MENU] ボタンまたは [R/B GAIN/PED] ボタンを押す。	[MENU] ボタンを 2 秒間押す。	[OPTION SW] の [A] ボタンを 2 秒間押す。

ご注意

- メニューの操作および終了は、メインメニューを表示させたコントロール機器で行ってください。もし他のコントロール機器でメニューの操作や終了を行った場合は、まず一方の機器でメインメニューの表示と終了を行い、さらにもう一方の機器でメインメニューの表示と終了を行ってください。

メニューの基本操作

■ 付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1** [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押して、操作したい本機を選ぶ
- 2** [MENU] ボタンを 2 秒間押す
メインメニューが表示されます。
- 3** [▲] または [▼] ボタンを押して、選択したい項目を点滅させる
[▲] または [▼] ボタンを押すごとに、点滅する項目が変わります。
- 4** [○] または [▶] ボタンを押す
選択した項目のサブメニューが表示されます。
(サブメニューの項目には、さらにサブメニューを持っているものもあります。)
- 5** [▲] または [▼] ボタンを押して、設定したい項目または、設定値を点滅させる
[▲] または [▼] ボタンを押すごとに、点滅する項目が変わります。
[Return] を点滅させて [○] または [▶] ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
メニュー表示中は、[○] ボタンと [▶] ボタンの機能は同じです。
値の変更が可能なときに [○] ボタンを押すと、値が変更されますので、ご注意ください。
- 6** [◀] または [▶] ボタンを押して、設定値を変更する
- 7** 設定が終わったら、[MENU] ボタンを 2 秒間押す
メニュー表示を終了します。

メニューの基本操作

■AW-RP655 から操作する場合

ジョグダイヤル (メイン)
 LCD が GAIN 調整モードのとき (GAIN ボタン MANU 時)
 GAIN 0 dB ~ 18 dB までを切り替えます。
 LCD が GAIN 調整モードのとき (GAIN ボタン AUTO 時)
 AGC MAX GAIN 6 dB、12 dB、18 dB を切り替えます。
 LCD が PED 調整モードのとき
 PEDESTAL TOTAL (-30 ~ +30) を調整します。
 ● カメラメニューモードのときは操作無効です。

AW-HE100 をコントロールする場合、
 これらのボタンは機能しません。

[EXT(AF)] ボタンを押すごとに、オートフォーカスとマニュアルフォーカスが切り替わります。オートフォーカスの時に [EXT(AF)] ボタンが点灯します。

ジョグダイヤル (L)
 LCD が GAIN 調整モードのとき
 R GAIN (-30 ~ +30) を調整します。
 LCD が PED 調整モードのとき
 操作できません。
 カメラメニューモードのとき (メニュー項目の操作)
 カメラメニューの項目を変更します。
 ・ 右回し：下に移動 ・ 左回し：上に移動
 ・ 押す : 決定 *1
 *1 : 設定値変更が可能な状態で押した場合、設定値の変更 (プラス) となりますので操作にご注意ください。

ジョグダイヤル (R)
 LCD が GAIN 調整モードのとき
 B GAIN (-30 ~ +30) を調整します。
 LCD が PED 調整モードのとき
 操作できません。
 カメラメニューモードのとき (設定値の変更)
 カメラメニューの設定値を変更します。
 ・ 右回し：プラス方向に変更 *2
 ・ 左回し：マイナス方向に変更 ・ 押す：操作無効
 *2 : 項目変更が可能な状態で押した場合、項目の決定となりますので操作にご注意ください。

- AW-HE100 をコントロールする場合、G/L SETTING は表示されません。G/L は AW-HE100 のカメラメニューで設定します。
- ワイヤレスリモコンから AW-HE100 カメラメニューの PEDESTAL (TOTAL) を変更した場合、AW-RP655 の LCD には反映されません。

1 [CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押して、操作したい本機を選ぶ

2 [MENU] ボタンを押す

AW-RP655 の LCD パネルの表示が、メニューモードになります。

3 ジョグダイヤル (メイン) を回して、「CAMERA SETTING」を LCD パネルに表示させる

4 [OK] ボタンを押す

LCD パネルに OPEN CAMERA MENU?
→ OK Key と表示されます。

メニューの基本操作

5 もう一度 [OK] ボタンを押す

LCDパネルに

CAMERA MENU CTRL. ITEM SEL. VALUE SEL.

 と表示されます。

6 ジョグダイヤル (L) を回して、選択したい項目を点滅させる

押すごとに、点滅する項目が変わります。

7 ジョグダイヤル (L) を押す

選択した項目のサブメニューが表示されます。

(サブメニューの項目には、さらにサブメニューを持っているものもあります。)

8 ジョグダイヤル (L) を回して、設定したい項目または、設定値を点滅させる

ジョグダイヤル (L) を回すごとに、点滅する項目が変わります。

「Return」を点滅させてジョグダイヤル (L) を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

9 ジョグダイヤル (R) を回して、設定値を変更する

10 設定が終わったら、[MENU] ボタンまたは [R/B GAIN/PED] ボタンを押す

メニュー表示を終了します。

- メニューモードのまま、他のボタンを押すと、メニューモードが解除されます。
解除されたメニューモードを再度操作したい場合は、**1**～**5**の操作を再度行ってください。

AW-HE100 を AW-RP655 から操作するためには、ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。 お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メニューの基本操作

■AW-RP555 から操作する場合

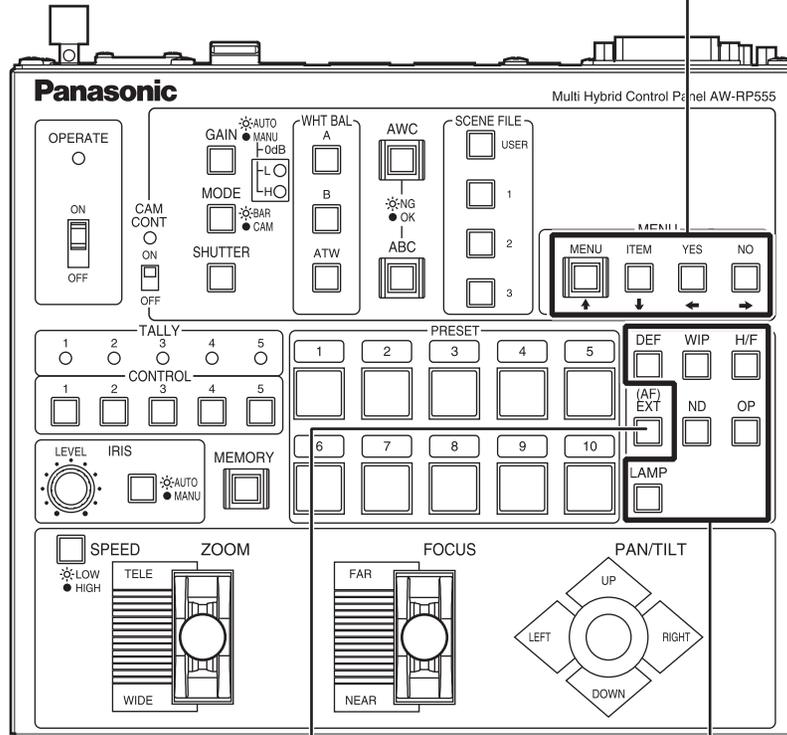
[MENU] ボタンを 2 秒間押すと、カメラメニュー操作が可能になります。

[MENU] : メニューを開く、項目を上に移動

[ITEM] : 項目を下に移動

[YES] : 決定、設定値をプラスに変更

[NO] : 設定値をマイナスに変更



[EXT(AF)] ボタンを押すごとに、オートフォーカスとマニュアルフォーカスが切り替わります。オートフォーカスの時に [EXT(AF)] ボタンが点灯します。

AW-HE100 をコントロールする場合、これらのボタンは機能しません。

1 [CONTROL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押して、操作したい本機を選ぶ

2 [MENU] ボタンを 2 秒間押す

モニター上にメインメニューが表示されます。

3 [MENU] または [ITEM] ボタンを押して、選択したい項目を点滅させる

[MENU] ボタンを押すと項目が上に移動します。

[ITEM] ボタンを押すと、項目が下に移動します。

4 [YES] ボタンを押す

選択した項目のサブメニューが表示されます。

(サブメニューの項目には、さらにサブメニューを持っているものもあります。)

メニューの基本操作

5 [MENU] または [ITEM] ボタンを押して、設定したい項目または、設定値を点滅させる

[MENU] ボタンを押すと項目が上に移動します。

[ITEM] ボタンを押すと、項目が下に移動します。

「Return」を点滅させて [YES] ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

6 [YES] または [NO] ボタンを押して、設定値を変更する

[YES] ボタンを押すとプラス方向へ、[NO] ボタンを押すとマイナス方向へ設定値が変更されます。

7 設定が終わったら、[MENU] ボタンを 2 秒間押す

メニュー表示を終了します。

AW-HE100 を AW-RP555 から操作するためには、ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メニューの基本操作

■AW-CB400/AW-RP400 から操作する場合

オート/マニュアルフォーカスの切り替えは [OPTION SW] ボタンに EXT を割り当てて使用します。

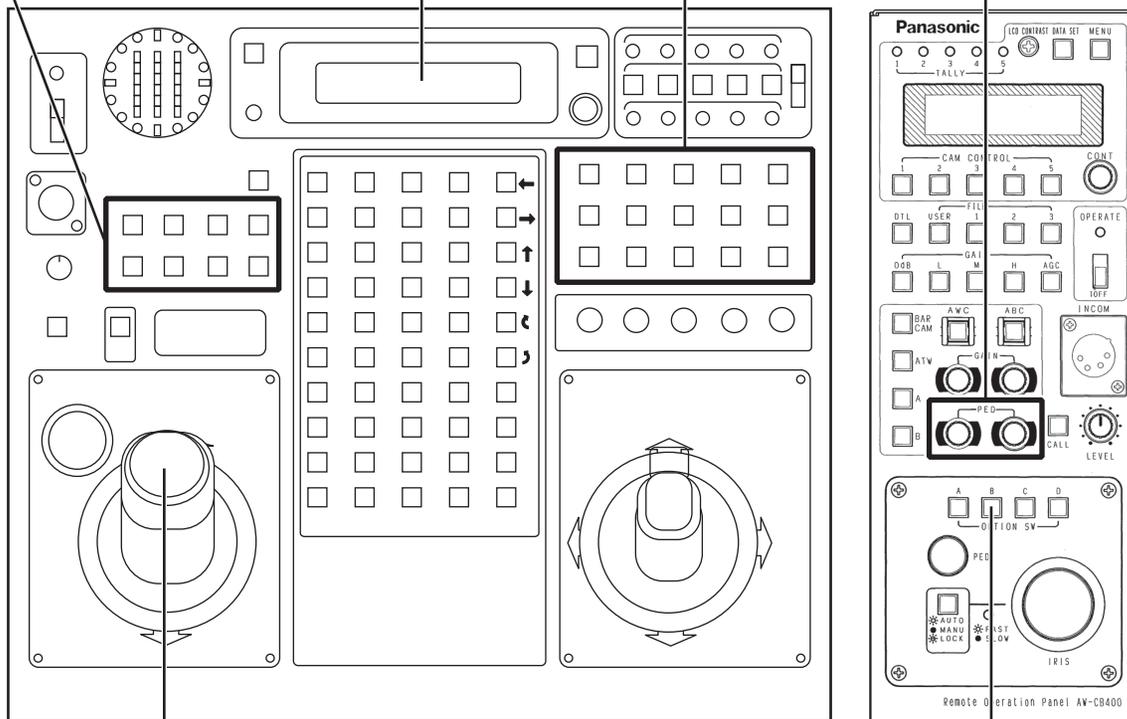
[EXT] ボタンを押すごとに、オートフォーカスとマニュアルフォーカスが切り替わります。

- [OPTION SW] に割り当てる次の機能は使用できません。(DEF、WIP、HEATER/FAN、LAMP、OPTION、ND)

LCD メニューのうち、以下の設定は機能しません。
TILT RANGE、MEMORY LENGTH

TRACING MEMORY
機能は使用できません。

R/B PED ダイヤルは
使用できません。



ZOOM/FOCUS 操作には、AW-CB400
の OPTION 機能ではなく AW-RP400 の
ZOOM レバー、FOCUS ダイヤルをご使用
ください。

AW-CB400 の LCD メニューで CAMERA MENU CNT を ENABLE に設
定すると、カメラメニュー操作が可能になります。

[OPTION SW]

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| [A] : メニューを開く、項目を上に移動 | [B] : 項目を下に移動 |
| [C] : 決定、設定値をプラスに変更 | [D] : 設定値をマイナスに変更 |

1 [CONTROL SELECT] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押して、操作したい本機を選ぶ

2 [OPTION SW] の [A] ボタンを 2 秒間押す

モニター上にメインメニューが表示されます。

3 [OPTION SW] の [A] または [B] ボタンを押して、選択したい項目を点滅させる

[OPTION SW] の [A] ボタンを押すと項目が上に移動します。

[OPTION SW] の [B] ボタンを押すと、項目が下に移動します。

4 [OPTION SW] の [C] ボタンを押す

選択した項目のサブメニューが表示されます。

メニューの基本操作

5 [OPTION SW] の [A] または [B] ボタンを押して、設定したい項目または、設定値を点滅させる

[OPTION SW] の [A] ボタンを押すと項目が上に移動します。

[OPTION SW] の [B] ボタンを押すと、項目が下に移動します。

「Return」を点滅させて [C] ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

6 [OPTION SW] の [C] または [D] ボタンを押して、設定値を変更する

[OPTION SW] の [C] ボタンを押すとプラス方向へ、[OPTION SW] の [D] ボタンを押すとマイナス方向へ設定値が変更されます。

7 設定が終わったら、[OPTION SW] の [A] ボタンを 2 秒間押す

メニュー表示を終了します。

AW-HE100 を AW-CB400/AW-RP400 から操作するためには、ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メニュー項目

■ メニュー項目の設定

本機の設定を行うときは、モニターにメニューを表示します。

モニターは、映像信号の出力端子 (VIDEO OUT 端子または HD/SD ANALOG 端子) に接続します。

メニューの基本操作は、メインメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。

サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。

付属のワイヤレスリモコン、コントローラー (AW-RP655、AW-RP555、AW-RP400) でメニューの表示や項目を変更するための基本操作は、43～50ページを参照してください。

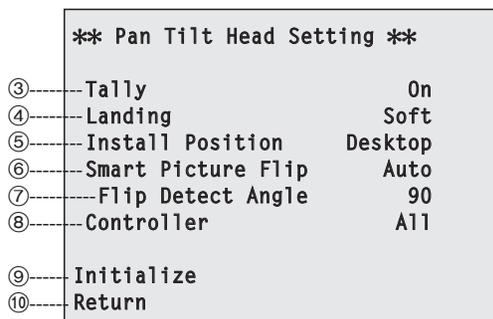
■ メインメニュー



① Pan Tilt Head Setting メニュー表示

② Camera Setting メニュー表示

■ 回転台設定メニュー



③ タリーランプ使用の選択 [Tally: On、Off]

(出荷状態 : On、制御する)

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の ON/OFF を選択します。

④ ランディングの選択 [Landing: Soft、Just]

(出荷状態 : Soft ソフトランディング)

ランディング特性をソフトまたはジャストから選択します。

ソフトはジャストより、停止操作による振動が少ない加減速を行います。

⑤ 据え置き設置／吊り下げ設置の選択

[Install Position: Desktop、Hanging]

(出荷状態 : Desktop 据え置き設置)

本機を吊り下げて設置するか、据え置き設置するかによって選択します。

Desktop : 据え置き設置

Hanging : 吊り下げ設置

⑥ 映像自動逆転の選択 [Smart Picture Flip: Auto、Off]

(出荷状態 : Off 逆転を行わない)

チルトが指定された角度になると、映像を逆転する機能の ON/OFF を選択します。

⑦ 映像自動逆転を開始するチルトの角度

[Flip Detect Angle: 60～120]

(出荷状態 : 90°)

「映像自動逆転の選択 (Smart Picture Flip)」が「Auto」のとき、映像を逆転するチルトの角度を指定します。

⑧ コントロール機器からの制御受付の選択

[Controller : All、RP、Option、RP/Option]

(出荷状態 : All すべてのコントロール機器)

All : すべてのコントロール機器
(付属のワイヤレスリモコンを含む)

RP : コントローラーのみ

Option : 拡張ボードのみ

RP/Option : コントローラーと拡張ボード

● この項目は、設定値を変更した時点では、動作に反映されません。

本機を待機状態 (STANDBY) にして電源を入れたときに反映されます。

メニュー項目

- この項目の設定値に関わらず、本機の電源を入れる操作はすべてのコントロール機器から可能です。
- 本機の電源を入れる操作を行ったコントロール機器からは、他の操作も可能になります。
次に本機を待機状態（STANDBY）にして電源を入れるまで有効です。

もしこの項目を変更して、特定のコントロール機器から操作できなくなった場合、次のいずれかを行ってください。

- **他のコントロール機器でメニュー操作可能な場合：**
操作可能なコントロール機器でこの項目を変更した後、本機の電源を入れ直す
- **他のコントロール機器でメニュー操作できない場合：**
 1. 接続している機器すべての電源を切る
 2. 本機の電源コードを抜いて再び差す
 3. 操作できなくなったコントロール機器から、本機の電源を入れる操作を行う
 4. この項目を変更した後、本機の電源を入れ直す

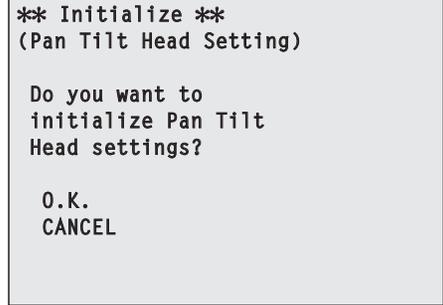
⑨ 初期化 [Initialize]

Pan Tilt Head Setting の全項目の設定値を出荷状態に戻します。（右を参照）

⑩ ひとつ前のメニュー（メインメニュー）に戻る [Return]

初期化について

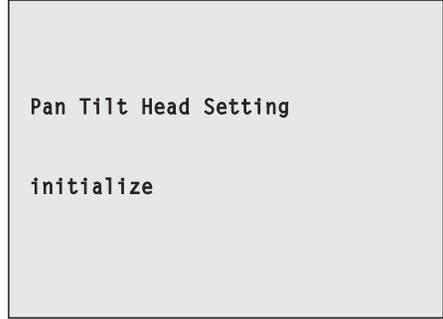
⑩の初期化「Initialize」を選択すると、初期化確認画面が約10秒間表示されます。
（[▲]または[▼]ボタンを押し、「Initialize」を点滅させて、[○]または[▶]ボタンを押す。）



```
** Initialize **  
(Pan Tilt Head Setting)  
  
Do you want to  
initialize Pan Tilt  
Head settings?  
  
O.K.  
CANCEL
```

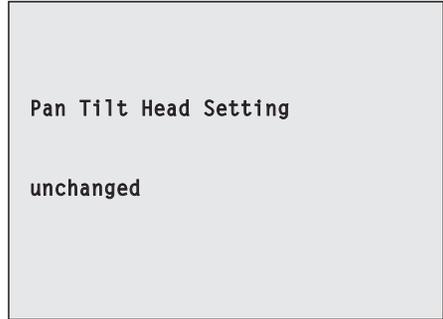
初期化確認画面

初期化確認画面を表示中に「O.K.」を選択すると、下図の画面が表示され、初期化が行われます。
（[▲]または[▼]ボタンを押し、「O.K.」を点滅させて、[○]または[▶]ボタンを押す。）
初期化が完了すると、回転台設定メニューに戻ります。



```
Pan Tilt Head Setting  
  
initialize
```

初期化確認画面を表示中に「O.K.」を選択しないか、「CANCEL」を選択すると、下図の画面が表示され、初期化を行わずに回転台設定メニューに戻ります。

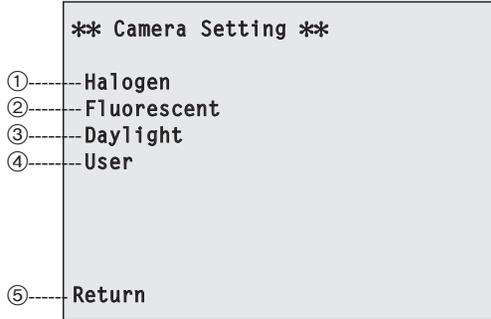


```
Pan Tilt Head Setting  
  
unchanged
```

メニュー項目

■ カメラ設定メニュー

撮影モードを選択するメニューです。



- ① ハロゲンライトモード用 Halogen メニュー表示
- ② 蛍光灯モード用 Fluorescent メニュー表示
- ③ デイライトモード用 Daylight メニュー表示
- ④ ユーザーモード用 User メニュー表示
- ⑤ ひとつ前のメニュー（メインメニュー）に戻る [Return]

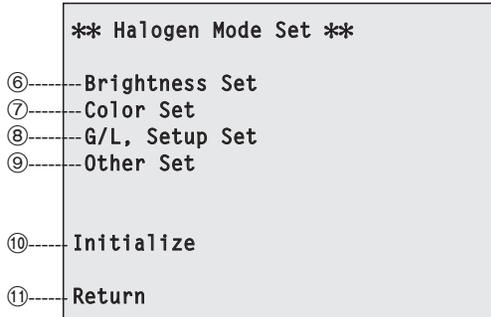
■ 各撮影モードの設定メニュー

ハロゲンライトモード、蛍光灯モード、デイライトモードの設定メニューは同じ構成です。

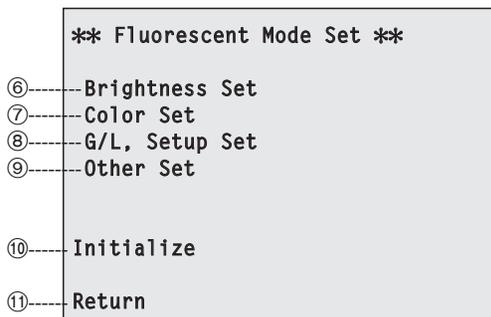
ただし設定値は、撮影モードごとに独立して記憶します。（一部の設定メニューを除きます。）

ユーザーモードは、独自の設定メニューを持ちます。

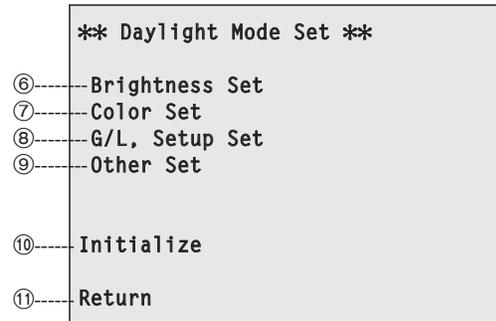
●ハロゲンライトモードの設定メニュー



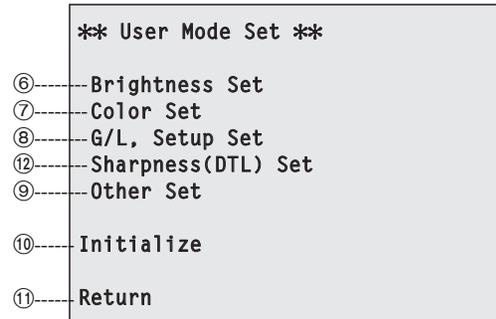
●蛍光灯モードの設定メニュー



●デイライトモードの設定メニュー



●ユーザーモードの設定メニュー



⑥ 明るさ設定メニュー表示 [Brightness Set]

この撮影モードの明るさ設定メニューを表示します。

⑦ 色設定メニュー表示 [Color Set]

この撮影モードの色設定メニューを表示します。

⑧ ゲンロック・カラーバー設定メニュー表示 [G/L, Setup Set]

⑨ その他設定メニュー表示 [Other Set]

⑩ 初期化 [Initialize]

次の設定値を出荷状態に戻します。（次ページ参照）

- 各撮影モードの⑥⑦⑫の全項目
- ⑧⑨の項目（全撮影モード共通）で映像フォーマット以外すべて

初期化を行うと、映像フォーマットは変わりませんが、アスペクト比、フォーカスの自動/手動選択、ゲンロック設定なども初期化されますのでご注意ください。

メニュー項目

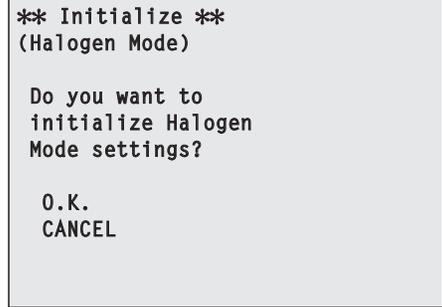
- ⑪ ひとつ前のメニュー（メインメニュー）に戻る
[Return]

（ユーザーモードのみ）

- ⑫ シャープネス設定メニュー表示
[Sharpness(DTL) Set]
ユーザーモードのシャープネス設定メニューを表示します。

初期化について

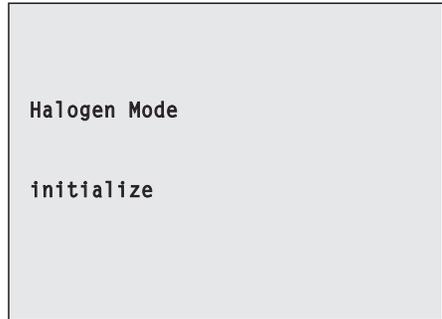
- ⑩ の初期化「Initialize」を選択すると、初期化確認画面が約 10 秒間表示されます。
（[▲] または [▼] ボタンを押し、「Initialize」を点滅させて、[O] または [▶] ボタンを押し。）



```
** Initialize **  
(Halogen Mode)  
  
Do you want to  
initialize Halogen  
Mode settings?  
  
O.K.  
CANCEL
```

例：ハロゲンライトモードの初期化確認画面

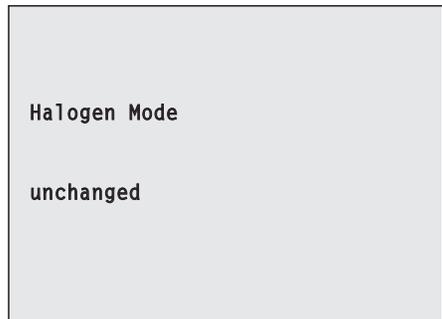
- 初期化確認画面を表示中に「O.K.」を選択すると、下図の画面が表示され、初期化が行われます。
（[▲] または [▼] ボタンを押し、「O.K.」を点滅させて、[O] または [▶] ボタンを押し。）
完了すると、各撮影モードの設定メニューに戻ります。



```
Halogen Mode  
  
initialize
```

例：ハロゲンライトモード

- 初期化確認画面を表示中に「O.K.」を選択しないか、「CANCEL」を選択すると、下図の画面が表示され、初期化を行わずに各撮影モードの設定メニューに戻ります。



```
Halogen Mode  
  
unchanged
```

例：ハロゲンライトモード

メニュー項目

■ 明るさ設定メニュー

● ハロゲンライトモード、蛍光灯モード、 デライトモードの明るさ設定メニュー

** Brightness Set **		
①	Picture Level	+1
②	Step	1/100
③	Gain	Auto
④	AGC Max Gain	18dB
⑤	Return	

① 映像レベル調整 [Picture Level: -4 ~ +4]

(出荷状態: ±0)

オートアイリス / オートゲインアップの収束レベルを調整します。

② シャッターステップ選択

[Step: Off, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000] (出荷状態: Off)

シャッタースピードを選択します (単位: 秒)。

Off: 電子シャッターを OFF にします。

50 Hz 地域でご使用のとき、1/100 で使用すると蛍光灯によるフリッカーが目立たなくなります。

③ ゲインの調整

[Gain: Auto, 0dB ~ 12dB, 15dB, 18dB]

(出荷状態: Auto, ユーザーモードのみ 0 dB)

光量を調整します。

Auto: 光量を自動調整します。(AGC: Auto Gain Control) 最大ゲインは「AGC 最大ゲイン選択 (AGC Max Gain)」で調整します。

- アイリスがマニュアル設定のときに「ゲインの調整 (Gain)」を「Auto」にすると、アイリスは自動的に自動設定に変更されます。
- 「ゲインの調整 (Gain)」が「Auto」のときにアイリスをマニュアル設定にすると、ゲインの調整は自動的に前回のゲイン値に変更されます。

ご注意

- 「ゲインの調整 (Gain)」を「Auto」に設定すると、光量が急激に変化する (映像出力にショックが出る) 場合があります。

④ AGC 最大ゲイン選択

[AGC Max Gain: 6dB, 12dB, 18dB, ---]

(出荷状態: 18 dB)

「ゲインの調整 (Gain)」が「Auto」のときの最大ゲイン量を設定します。

⑤ ひとつ前のメニュー (撮影モードを選択するメニュー) に戻る [Return]

● ユーザーモードの明るさ設定メニュー

** Brightness Set **		
①	Picture Level	+1
⑥	Shutter Mode	Synchro
⑦	Step/Synchro	60.04Hz
③	Gain	Auto
④	AGC Max Gain	18dB
⑤	Return	

(ユーザーモードのみ)

⑥ シャッターモードの選択

[Shutter Mode: Step, Synchro]

(出荷状態: Step)

「シャッターステップ / シンクロスキャン設定 (Step / Synchro)」で選択したシャッタースピードで動作します。

Step: シャッターステップ値から選択します。

Synchro: シンクロスキャンの周波数を設定します。

⑦ シャッターステップ / シンクロスキャン設定

[Step/Synchro: Off, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 または 60.04Hz ~ 248.82Hz]

(出荷状態: Off, 60.04 Hz)

シャッタースピードを選択します。

「シャッターモードの選択 (Shutter Mode)」が「Step」の場合は、Off, 1/100 秒, 1/250 秒, 1/500 秒, 1/1000 秒, 1/2000 秒から選択します。

Off: 電子シャッターを OFF にします。

50 Hz 地域でご使用のとき、1/100 で使用すると蛍光灯によるフリッカーが目立たなくなります。

「シャッターモードの選択 (Shutter Mode)」が「Synchro」の場合は、60.04 Hz ~ 248.82 Hz の範囲で設定します。

テレビ画面などを撮影するとき、シンクロスキャン調整をすることにより、横バー状ノイズを低減させることができます。

メニュー項目

■ 色設定メニュー

● ハロゲンライトモード、蛍光灯モード、 デイライトモードの色設定メニュー

** Color Set **		
①	Chroma Level	+1
②	White Bal	ATW
③	Return	

- ① 色の濃さ調整 [Chroma Level: -3 ~ +3]
(出荷状態: ±0、ユーザーモードのみ +2)
- ② ホワイトバランス選択 [White Bal: ATW、AWC A、
AWC B、3200K、5600K]
(出荷状態: ATW、ユーザーモードのみ AWC A)
ATW : 常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動補正します。
 - ・高輝度(蛍光灯など)が画面に入った場合、ATW が正しく動作しないことがあります。
 - ・画面上に白がない場合ホワイトバランスがずれることがあります。**AWC A、AWC B :**
AWC A または AWC B を選択してホワイトバランスを調整すると、その状態を記憶します。同一条件で使用する場合は、AWC A または AWC B を選択するだけで調整状態を再現でき、改めて調整する必要がなくなります。
新たに記憶すると以前の記憶内容は消去されます。
AWC A または AWC B が選択されている状態で AWC (ホワイトバランス自動調整) や手動調整を行うと、そのときの状態を記憶します。
3200K : 3200K の照明 (ハロゲンライト相当) で調整されたホワイトバランスに設定します。
5600K : 5600K の照明 (デイライト相当) で調整されたホワイトバランスに設定します。

- ③ ひとつ前のメニュー (撮影モードを選択するメニュー) に戻る [Return]

● ユーザーモードの色設定メニュー

** Color Set **		
①	Chroma Level	+1
②	White Bal	ATW
④	Pedestal Painting	±0
⑤	R Gain	±0
⑥	B Gain	±0
③	Return	

(ユーザーモードのみ)

- ④ 黒レベル調整 [Pedestal: -30 ~ +30]
(出荷状態: ±0)
輝度 (Y) 信号の黒レベル (ペDESTアルレベル) の設定を行います。
本機を含むカメラを複数台使用する際に、黒レベルを合わせます。
- ⑤ ペインティング R ゲイン調整 [R Gain: -30 ~ +30]
(出荷状態: ±0)
- ⑥ ペインティング B ゲイン調整 [B Gain: -30 ~ +30]
(出荷状態: ±0)
「ホワイトバランス選択 (White Bal)」で「AWC A」または「AWC B」を選択しているとき、AWC (ホワイトバランス自動調整) を実行したあとのホワイトバランスの微調整ができます。
AWC を実行すると、設定値は±0に戻ります。

メニュー項目

■ ゲンロック・カラーバー設定メニュー

ゲンロック・カラーバー設定メニューのすべての設定値は、すべての撮影モード（ハロゲンライトモード、蛍光灯モード、デライトモード、ユーザーモード）で共通です。（ひとつのモードで設定値を変更すると、ほかのモードも同じ設定値になります。）

** G/L, Setup Set **		
①	H Phase	±0
②	SC Coarse	90deg
③	SC Fine	±0
④	Setup Level	On
⑤	Return	

- ① 水平位相調整 [H Phase: -206 ~ +49]
(出荷状態: ±0)
ゲンロック時の水平位相の調整ができます。
- ② 色位相粗調整
[SC Coarse: 0deg、45deg、90deg、135deg、180deg、225deg、270deg、315deg]
(出荷状態: 90deg)
ゲンロック時の色位相の粗調整ができます。映像信号出力が VBS または Y/C のときのみ有効です。
- ③ 色位相微調整 [SC Fine: -127 ~ +127]
(出荷状態: ±0)
ゲンロック時の色位相の微調整ができます。映像信号出力が VBS または Y/C のときのみ有効です。
- ④ セットアップレベル選択
[Setup Level: Off(0 IRE)、On(7.5 IRE)]
(出荷状態: On)
セットアップレベルを選択できます。
- ⑤ ひとつ前のメニュー（撮影モードを選択するメニュー）に戻る [Return]

■ シャープネス設定メニュー（ユーザーモードのみ）

ユーザーモードのみ、シャープネス設定メニューがあります。

** Sharpness(DTL) Set **		
①	Detail	On
②	Total Detail Level	2
③	V Detail Level	4
④	Noise Suppress	0
⑤	Return	

- ① ディテール ON/OFF 選択 [Detail: On、Off]
輪郭補正の ON/OFF を選択します。
「On」のときはトータルおよび垂直ディテールレベル選択で輪郭補正量を調整できます。
- ② トータルディテールレベル選択
[Total Detail Level: 0 ~ 14、--] (出荷状態: 7)
水平・垂直方向の輪郭補正量を選択します。
「ディテール ON/OFF 選択 (Detail)」が「Off」のときは「--」と表示され、選択できません。
- ③ 垂直ディテールレベル選択
[V Detail Level: -7 ~ +7、--] (出荷状態: ±0)
垂直方向の輪郭補正量を選択します。
「ディテール ON/OFF 選択 (Detail)」が「Off」のときは「--」と表示され、選択できません。
- ④ ノイズサプレス [Noise Suppress: 0 ~ 7]
(出荷状態: 0)
ディテールによる画面ノイズ量を少なくできます。値を大きくするとノイズが少なくなります。ただし、大きくしすぎると細かい被写体のシャープさが減少します。
- ⑤ ひとつ前のメニュー（撮影モードを選択するメニュー）に戻る [Return]

メニュー項目

■ その他設定メニュー

その他設定メニューの設定値は、ガンマ補正レベル選択 (Gamma) を除き、すべての撮影モード (ハロゲンライトモード、蛍光灯モード、デイトライトモード、ユーザーモード) で共通です。

(ひとつのモードで設定値を変更すると、ほかのモードも同じ設定値になります。)

● ハロゲンライトモード、蛍光灯モード、デイトライトモードのその他設定メニュー

** Other Set **		
①	Focus	Auto
②	Iris	Auto
③	Format	1080i
④	Aspect	---
⑤	Status	Off
⑥	Component	---
⑦	Focus ADJ With Zoom	On
⑧	Return	

① フォーカス調整の自動 / 手動選択

[Focus: Auto、Manual] (出荷状態: Auto)

Auto : 自動的に常にフォーカスを合わせます。

Manual : フォーカスをマニュアル操作します。

② アイリス調整の自動 / 手動選択

[Iris: Auto、Manual] (出荷状態: Auto)

Auto : 自動的に常にアイリスを合わせます。

Manual : アイリスをマニュアル操作します。

- アイリスがマニュアル設定のときに「ゲインの調整 (Gain)」を「Auto」にすると、アイリスは自動的に自動設定に変更されます。
- 「ゲインの調整 (Gain)」が「Auto」のときにアイリスをマニュアル設定にすると、ゲインの調整は自動的に前回のゲイン値に変更されます。

③ 映像フォーマットの選択

[Format: 1080i、720p、480i、480psF]

(出荷状態: 1080i)

設定値を変更しても映像フォーマットはすぐ切り替わりません。ほかの項目に移る操作をしたときに設定変更の確認画面が表示されます。(次ページ参照)

④ 映像のアスペクト比選択 [Aspect: ---、16:9、4:3]

(出荷状態: 16:9)

「映像フォーマット (Format)」が「480i」または「480psF」のとき、アスペクト比を「16:9 (スクイーズ)」か「4:3 (サイドカット)」から選択します。

「映像フォーマット (Format)」が「1080i」または「720p」のときは「---」を表示し、選択できません。またこのとき、コンポジット信号のアスペクト比は16:9 (スクイーズ) に固定されます。

⑤ AWC/ABC 動作状態表示の ON/OFF 選択

[Status: Off、On] (出荷状態: Off)

AWC (ホワイトバランス自動調整) や ABC (ブラックバランス自動調整) の動作状態表示の ON/OFF を選択します。

ON のときに AWC または ABC を実行すると、次の表示を行います。

AWC ACTIVE : AWC 実行中に表示

AWC OK : AWC 正常終了後 3 秒間表示

AWC NG : AWC 異常終了後 3 秒間表示

ABC ACTIVE : ABC 実行中に表示

ABC OK : ABC 正常終了後 3 秒間表示

ABC NG : ABC 異常終了後 3 秒間表示

⑥ コンポーネント信号選択

[Component: ---、Y/Pb/Pr、Y/C]

(出荷状態: Y/Pb/Pr)

「映像フォーマット (Format)」が「480i」または「480psF」のとき、コンポーネント信号を「Y/Pb/Pr」か「Y/C」から選択します。

「映像フォーマット (Format)」が「1080i」または「720p」のときは「---」を表示し、選択できません。

⑦ ズーム操作中のフォーカス補正機能の ON/OFF 選択

[Focus ADJ With Zoom: Off、On] (出荷状態: On)

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。

このフォーカスのずれを補正する機能の ON/OFF を選択します。

この機能を OFF にした場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

⑧ ひとつ前のメニュー (撮影モードを選択するメニュー) に戻る [Return]

メニュー項目

●ユーザーモードのその他設定メニュー

** Other Set **		
⑨	Gamma	Normal
①	Focus	Auto
②	Iris	Auto
③	Format	1080i
④	Aspect	---
⑤	Status	Off
⑥	Component	---
⑦	Focus ADJ With Zoom	On
⑧	Return	

(ユーザーモードのみ)

⑨ ガンマ補正レベル選択

[Gamma : Low、Normal、High]

(出荷状態 : Normal)

Low : 落ち着いたある映像にします。コントラストはシャープになります。(低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブ)

Normal : 映像フォーマットが 1080i または 720p のときは、HD 撮影に適した設定にします。それ以外のときは、SD 撮影に適した設定にします。

High : 暗い部分の階調を広げて明るいトーンの映像にします。
コントラストはソフトになります。
(低輝度部の傾きが急なガンマカーブ)

③の「映像フォーマットの選択 (Format)」では、値を変更しても映像フォーマットはすぐ切り替わりません。ほかの項目に移る操作をしたときに ([▲] または [▼] ボタンを押す)、下図の確認画面が表示されます。

** Other Set **	
Focus	Auto
Iris	Auto
Format	1080i

Change Setting?	
O.K.	
CANCEL	

Return	

例 : ハロゲンライトモード

「O.K.」を選択すると、映像フォーマットを切り替え、その他設定メニューに戻ります。

([▲] または [▼] ボタンを押し、「O.K.」を選択し、[O] または [▶] ボタンを押す。)

「CANCEL」を選択した場合は映像フォーマットを切り替えず、その他設定メニューに戻り、変更前の設定値を表示します。

メニューを閉じた場合も、映像フォーマットを切り替えません。

ご注意

- 接続しているモニターが対応していない映像フォーマットに変更しないでください。映像を正しくモニターに表示することができなくなり、メニューも表示できなくなります。このためメニュー操作ができなくなり、映像フォーマットに戻す操作もできなくなります。このような場合は、コンポジット信号または変更した映像フォーマットに対応したモニターを接続して、映像フォーマットを変更してください。

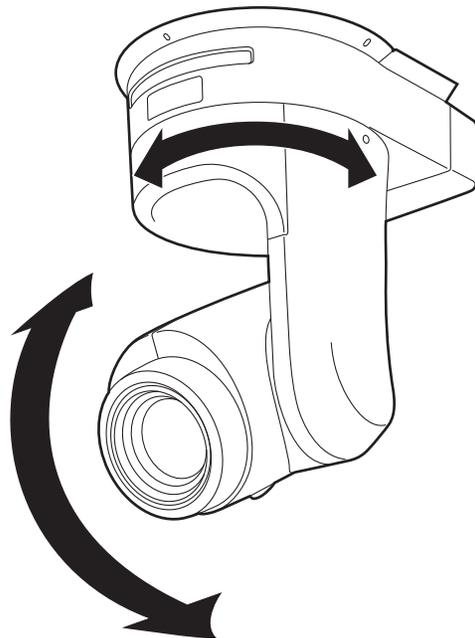
メニュー項目一覧

メニュー	項目	出荷時 設定		
Pan Tilt Head Setting	Tally	On		
	Landing	Soft		
	Install Position	Desktop		
	Smart Picture Flip	Off		
	Flip Detect Angle	90		
	Controller	All		
	Initialize			
	Return			
Camera Setting <Halogen>	Brightness Set	Picture Level	±0	
		Step	Off	
		Gain	Auto	
		AGC Max Gain	18dB	
		Return		
	Color Set	Chroma Level	±0	
		White Bal	ATW	
		Return		
	G/L, Setup Set	H Phase	±0	
		SC Coarse	90deg	
		SC Fine	±0	
		Setup Level	On	
		Return		
	Other Set	Focus	Auto	
		Iris	Auto	
		Format	1080i	
		Aspect	16:9	
		Status	Off	
		Component	Y/Pb/Pr	
		Focus ADJ With Zoom	On	
	Return			
	Initialize			
	Return			
	Camera Setting <Fluorescent>	Brightness Set	Picture Level	±0
			Step	Off
			Gain	Auto
			AGC Max Gain	18dB
			Return	
Color Set		Chroma Level	±0	
		White Bal	ATW	
		Return		
G/L, Setup Set		H Phase	±0	
		SC Coarse	90deg	
		SC Fine	±0	
		Setup Level	On	
		Return		
Other Set		Focus	Auto	
		Iris	Auto	
		Format	1080i	
		Aspect	16:9	
		Status	Off	
		Component	Y/Pb/Pr	
		Focus ADJ With Zoom	On	
Return				
Initialize				
Return				

メニュー	項目	出荷時 設定		
Camera Setting <Daylight>	Brightness Set	Picture Level	±0	
		Step	Off	
		Gain	Auto	
		AGC Max Gain	18dB	
		Return		
	Color Set	Chroma Level	±0	
		White Bal	ATW	
		Return		
	G/L, Setup Set	H Phase	±0	
		SC Coarse	90deg	
		SC Fine	±0	
		Setup Level	On	
		Return		
	Other Set	Focus	Auto	
		Iris	Auto	
		Format	1080i	
		Aspect	16:9	
		Status	Off	
		Component	Y/Pb/Pr	
		Focus ADJ With Zoom	On	
	Return			
	Initialize			
	Return			
	User	Brightness Set	Picture Level	±0
			Shutter Mode	Step
			Step/Synchro	
			(Step)	Off
			(Synchro)	60.04Hz
Gain			0dB	
AGC Max Gain			18dB	
Return				
Color Set		Chroma Level	+2	
		White Bal	AWC A	
		Pedestal	±0	
		Painting		
		Return		
G/L, Setup Set		H Phase	±0	
		SC Coarse	90deg	
		SC Fine	±0	
		Setup Level	On	
		Return		
Sharpness (DTL) Set		Detail	On	
		Total Detail Level	7	
		V Detail Level	±0	
		Noise Suppress	0	
Return				
Other Set		Gamma	Normal	
		Focus	Auto	
		Iris	Auto	
		Format	1080i	
		Aspect	16:9	
	Status	Off		
	Component	Y/Pb/Pr		
	Focus ADJ With Zoom	On		
Return				
Initialize				
Return				

リミッターについて

本機には、パン・チルトの可動範囲を制限する設定（リミッター）があります。
設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり本機が接触する場合があります。
本機が障害物に接触していると、故障や事故の原因になります。
このような場合、障害物の手前でリミッターを設定することにより、接触を防ぐことができます。
リミッターの位置は、可動範囲の上限・下限・左限・右限の4箇所が設定できます。
一度設定されたリミッター位置は、電源を切っても消えません。



リミッターの設定と解除は、付属のワイヤレスリモコンとコントローラーの両方で行うことができます。
最後に行った設定または解除が優先されます。

コントローラーの操作については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。
ここでは、付属のワイヤレスリモコンを使ったリミッターの設定について説明します。

リミッターの設定と解除

■ リミッターの基本操作

1 [MENU] ボタンを押す

短く押してください。2 秒間押すとメニューが表示されます。

その場合は、再度 [MENU] ボタンを 2 秒間押して、メニューを終了してください。

そのあと手順 1 からやり直してください。

2 [PRESET] ボタンを押しながら、[▲][▼][◀][▶] ボタンのいずれかを 2 秒間押す

それぞれ上限、下限、左端、右端のリミッターの設定（または解除）を行います。このときタリーランプが点滅します。設定のときは 1 回点滅し、解除のときは 2 回点滅します。

手順 1 と 2 の間に他のボタン操作を行った場合は、手順 1 からやり直してください。

■ リミッターの設定

以下の手順でリミッター位置を設定することができます。設定すると、タリーランプが 1 回点滅します。

1 [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ

● 可動範囲の上限位置を設定

ワイヤレスリモコンの [▲] または [▼] ボタンを押し、上限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▲] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の下限位置を設定

ワイヤレスリモコンの [▲] または [▼] ボタンを押し、下限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▼] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の左端位置を設定

ワイヤレスリモコンの [◀] または [▶] ボタンを押し、左端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [◀] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の右端位置を設定

ワイヤレスリモコンの [◀] または [▶] ボタンを押し、右端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▶] ボタンを 2 秒間押します。

■ リミッターの解除

設定されているリミッター位置を、以下の手順で解除することができます。

解除すると、タリーランプが 2 回点滅します。

1 [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ

2 以下の方法でリミッターを解除する

● 可動範囲の上限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▲] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の下限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▼] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の左端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [◀] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の右端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▶] ボタンを 2 秒間押します。

■ リミッターの再設定

リミッターの再設定をするには、現在設定されている設定を解除する必要があります。

設定されているリミッター位置を以下の手順で再設定することができます。

1 再設定したいリミッター位置の設定を、「リミッターの解除」の手順で解除する

2 「リミッターの設定」の手順で、リミッター位置を設定する

セーフモード

■ セーフモードについて

本機は、人や物への危害、本機の損傷を防止するため、2種類のセーフモードを備えています。セーフモードになると、一部またはすべての操作を受け付けなくなります。

1 衝突時のセーフモード

パンやチルト操作の際に本機が人や障害物に衝突すると、「衝突時のセーフモード」になり、衝突方向のパンおよびチルトの動作を中止します。

「衝突時のセーフモード」を解除するには、パンおよびチルトの操作を中立位置に戻します。

2 機器異常時のセーフモード

内部が故障した場合、「機器異常時のセーフモード」になり、機能を停止して状態表示ランプを赤色に点灯します。

「機器異常時のセーフモード」を解除するには、いったん待機状態（STANDBY）にしたあと、再び電源を入れます。（再度内部故障と判断した場合は、再び「機器異常セーフモード」になります。）

ご注意

- 本機が人や障害物に衝突しセーフモードになると、映像が出力されなくなることがありますが、5～10秒で復帰します。

故障と思ったら

●操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグが AC コンセントに確実に接続されていますか？	---
	● 電源プラグが正しく接続されていますか？	---
	● コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	工事説明書 P.34 ~ 35
	● ワイヤレスリモコンで操作の場合 → 「ワイヤレスリモコンで操作できない」の項目もご覧ください。	---
操作できない (ワイヤレスリモコン、 コントローラー共通)	● 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、 本機の電源が入っていません。	P.19
	● 操作したい本機を正しく選んでいますか？	P.21
	● セーフモード機能が働いている場合があります。	P.63
	● リミッター機能を設定していませんか？	P.61 ~ 62
	● 以前にメニュー項目の「Controller」（コントロール機器からの制御受付の選択）を変更していませんか？ → 参照ページの手順にしたがって設定を変更してください。	P.51
ワイヤレスリモコンで 操作できない	● 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ → ワイヤレスリモコンをワイヤレスリモコン信号受光部の近くで 操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、電池が消耗 しています。電池を交換してください。	---
	● 本機の近くに蛍光灯やプラズマモニターがあり、それらからの光がワ イヤレスリモコン信号受光部に当たっていませんか？	P.17
コントローラーで 操作できない	● コントローラーと正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	工事説明書 P.34 ~ 35
	● コントローラー選択スイッチは正しく選択されていますか？ → スイッチ設定を確認してください。 → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	工事説明書 P.34 ~ 35
	● 本機に対応するためにコントローラーのバージョンアップが必要な場 合があります。 → 販売店にご相談ください。	---
	● AW-RP400 と AW-CB400 の組み合わせでは、どちらかの操作を 禁止する設定がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---
操作と逆方向に回転 する	● 据え置き設定は正しく選択されていますか？	工事説明書 P.24
	● 映像自動逆転の機能によって映像が逆転したときは、操作と逆方向に 回転するように見えます。	P.51
	● コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定 がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---

故障と思ったら

●映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	● 接続した機器と正しく接続されていますか？	工事説明書 P.33 ~ 35
	● 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	P.21
	● 映像信号設定は正しく選択されていますか？	工事説明書 P.21 ~ 23
映像が上下逆になる	● 据え置き設定は正しく選択されていますか？	工事説明書 P.24
	● 映像自動逆転の機能がはたらいっていませんか？	P.51
複数の色の帯（カラーバー）が表示される	● カメラ映像に切り替えてください。	P.26
メニュー画面が表示される	● メニューを終了してください。	P.43 ~ 50
自動でフォーカスが合わない	● フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。	P.26
	● 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はマニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。	P.28
映像の色がおかしい	● ATW（自動追尾式ホワイト調整）を有効にしてください。	P.35
	● 場面によっては ATW では正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。	P.34
映像が明るすぎる、または暗すぎる	● アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。	P.28
	● 映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。 → その場合はケーブル補償器（AW-RC400 など）を接続してください。	---

お手入れのしかた

製品の安全性と性能を維持するために、以下のお手入れを定期的実施してください。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いてください。
- レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃につかうもの）で行ってください。

お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

警告

■お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、冷めてから行う



電源プラグ
を抜く

感電・やけど・けがをすることがあります。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

消耗品の交換

ベルトは消耗品です。
定期的な交換が必要です。

交換は、販売店にご相談ください。

■ベルトの交換

交換のめやすは約4年です。

（一日8時間の使用で、10秒間のパン・チルト操作と50秒間の停止を繰り返した場合）

プリセットメモリーの停止精度が劣化した場合は、交換してください。

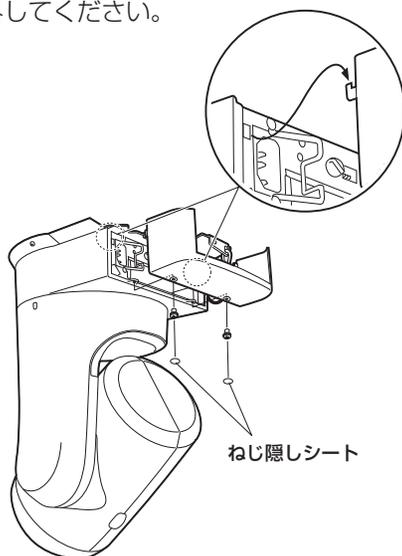
本機の取り外しかた

ここでは、吊り下げ設置の取り外しの手順で説明していますが、据え置き設置の場合も同じ要領です。

- 取り外す前に、ブレーカーなど電源供給を切ってから作業してください。
- 本機の底面に落下防止ワイヤーが取り付けられています。取り外しの際にはご注意ください。
- 作業は、本機の重量を考慮しながら、安全のため所定の強度・高さを確保できる脚立などを準備し、落下などさせないように、十分に注意をしてください。
- 作業時は、必ず本機のベース部分を持ってください。レンズ部分や回転部分を持って作業を行うと故障の原因となります。
- 必ず2人での作業をお願いします。

1 ケーブルカバーを取り外す

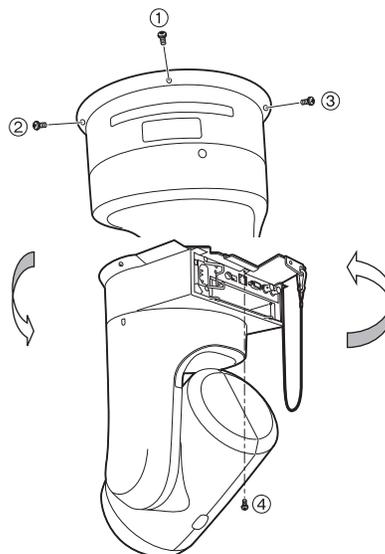
ねじ隠しシートを取ってから、ねじ2本を外し、ケーブルカバーを取り外してください。
ケーブルカバーにはツメがあります。下に引くようにして外してください。



2 ケーブルを取り外す

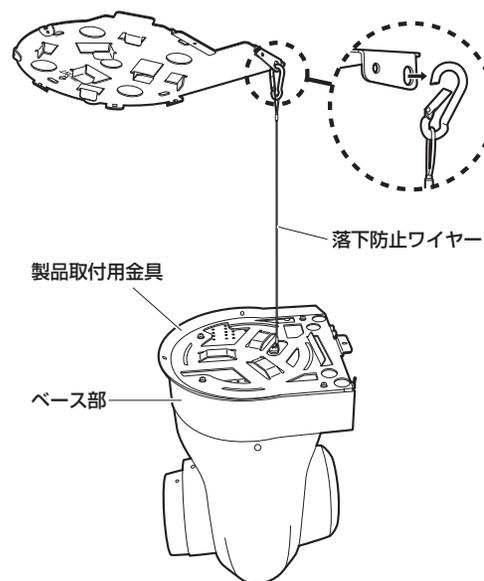
電源ケーブル、映像ケーブル、制御ケーブルなどを取り外してください。

3 本体固定ねじ（4か所）を取り外す



4 上図の矢印方向へ本体を回し、外す

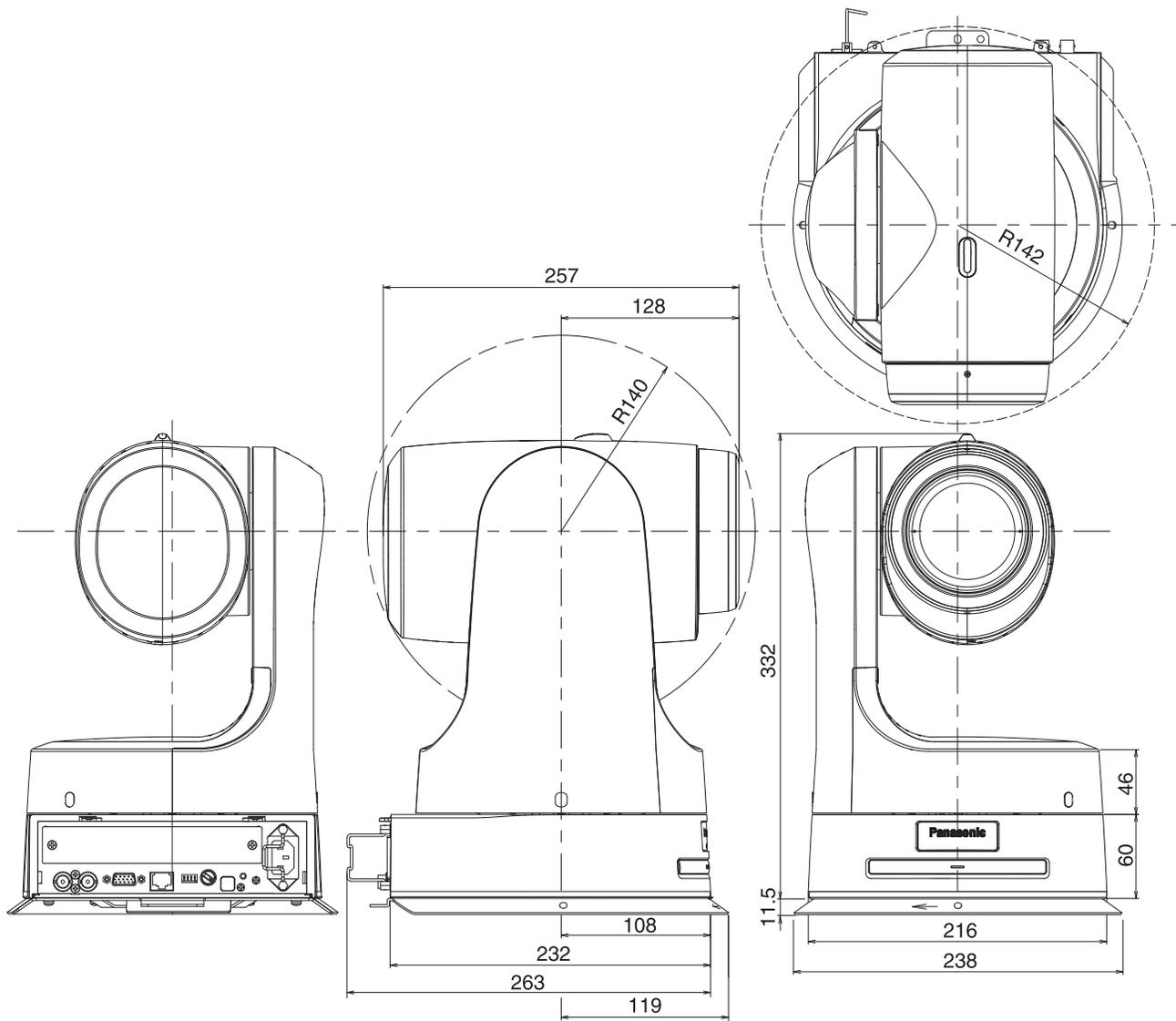
5 本体を持ちながら、落下防止ワイヤーのフックを外す



6 天井の取付金具を取り外す

外形寸法图

单位：mm



定格

電 源： AC 100 V ~ 240 V、50/60 Hz

消費電力： 約40 W

 は安全項目です。

■総合

動作温度	: 0 °C ~ +40 °C
保存温度	: -20 °C ~ +50 °C
許容湿度	: 85 %以下 (結露なきこと)
質量 (重量)	: 約 7.5 kg
寸法 (幅×奥行×高さ)	: 238 × 257 × 343.5 mm (突起部含まず)
仕上げ	: つや消しライトシルバー
対応コントローラー	: AW-RP655、AW-RP555、AW-RP400、AW-IF400、AW-CB400 ● コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。

■入力

入力端子	: AC100 V ~ 240 V (50/60 Hz)、 G/L IN (BNC) ● BBS または VBS に対応
------	--

■出力

出力端子	: コンポジット : 1.0Vp-p/75 Ω (BNC × 1)、 HD/SD アナログコンポーネントまたは SD Y/C (VGA 15P × 1) ● Y/C は SD モード時のみ、Y/Pb/Pr との切替はメニュー切替 Y/Pb/Pr 出力時は SD/HD 選択可能
------	---

■入出力

入出力端子	: CONTROL IN RS422A (RJ-45)
-------	-----------------------------

■機能／性能

【カメラ部】

撮像素子	: 1/3 型 CCD 撮像素子 × 3 (インターライン型、プログレッシブ対応)
レンズ	: 電動 13 倍ズーム F1.6 ~ 2.8 (f=4.2 ~ 55 mm 35 mm 換算 : 32.5 mm ~ 423 mm)
フォーカス	: オート / マニュアル切替
色分解光学系	: プリズム方式
ゲイン切替	: 0 ~ 12 dB ステップ、15 dB、 18 dB、AGC (AGC ON 時は常にアイリスは自動)
電子シャッター	: 1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒、 シンクロスキャン (60.04 ~ 248.82 Hz)
ガンマ	: Low、Normal、High

定格

ホワイトバランス	: AWC A、AWC B、ATW、3200K、5600K
ブラックバランス	: オート
クロマ量可変	: 7 段階可変
撮影モード (シーンファイル)	: ハロゲンライト、蛍光灯、デイライト、ユーザー
カラーバー	: SMPTE (SD モード時)、FULL BAR (HD モード時)
出力フォーマット	: HD: 1080:59.94i、720:59.94p SD: 480:59.94i、29.97psF
映像出力	: ・コンポジット: 1.0 Vp-p/75 Ω (BNC × 1) ・HD/SD アナログコンポーネントまたは SD Y/C (VGA 15P × 1) Y/Pb/Pr Y: 1.0 Vp-p/75 Ω、Pr・Pb: 0.7 Vp-p/75 Ω (VGA 15P × 1) Y/C Y: 1.0 Vp-p/75 Ω、C: 0.286 Vp-p/75 Ω (バースト) 480:59.94i、 29.97psF 時 ※ Y/Pb/Pr 時、HD・SD を選択できます。 ※ SD 時、Y/Pb/Pr か Y/C を選択できます。 ※ Y/C 時、VGA 15P 出力端子の Y には VBS 信号、Pb に Y 信号、 Pr に C 信号が出力されます。 ※ SETUP はコンポジット、Y/C 時のみ選択できます。ほかの信号には SETUP は ありません。
同期方式	: 内部 / 外部同期 (BBS または VBS BNC × 1)

【回転台部】

据付方法	: 据え置きまたはつり下げ ※安全のため、付属ブラケットにて固定が必要です。 設置は必ず工事業者へ依頼してください。
コントローラー接続	: 接続ケーブル: 10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、 最大 1000m (制御のみ: 映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です) プロトコル: RS422A AW シリーズプロトコル
パン範囲	: ±175°
チルト範囲	: -40° ~ +210°
動作速度	: 最大 60°/s
騒音レベル	: NC30 (30°/s 動作時)、NC35 (60°/s 動作時)

【ワイヤレスリモコン】

電源	: 単 3 形乾電池 (別売) 2 個
使用可能電池	: 単 3 形、AA、R6、R6P、R6PU、UM3、LR6
操作距離	: 約 10 m 以内
質量	: 約 90 g (乾電池を除く)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お
買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読
みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このHDインテグレートドカメラの補修用性
能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連
絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	HDインテグレートドカメラ
品番	AW-HE100N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望によ
り修理させていただきます。下記修理料金の仕組み
をご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成さ
れています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・
調整・修理完了時の点検などの作業に
かかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代
です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所
へ技術者を派遣する場合の費用です。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社

システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハヨイフ



0120-878-410 受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは <http://panasonic.biz/pss/info>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	AW-HE100N
	販売店名	電話（ ）	—			

パナソニック株式会社 システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号